

2026 年度

シラバス



century college
KANAZAWA REHABILITATION ACADEMY

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー

目 次

教育課程	1
理学療法学科	
基礎分野	5
専門基礎分野	11
専門分野	25
作業療法学科	
基礎分野	43
専門基礎分野	49
専門分野	61

教育課程

理学療法学科 【基礎分野・専門基礎分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年	
			前	後	前	後	前	後
			基礎分野	101 情報科学	2	30		
102 心理学	2			30				
103 コミュニケーション学	2	30						
104 ライフスポーツ演習	1	30						
105 生物学	2	30						
106 物理学	2			30				
107 英語	2	30						
108 基礎セミナーⅠ	2	30						
109 基礎セミナーⅡ	2			30				
110 キャリアデザイン学Ⅰ	2				30			
111 キャリアデザイン学Ⅱ	2					30		
合計		21	180	90	30	30	0	0

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
			専門基礎分野	121 解剖学Ⅰ	2	30			
122 解剖学Ⅱ	2	30							
123 解剖学演習	1	30							
124 解剖学実習	1			45					
125 機能解剖演習	1				30				
126 生理学Ⅰ	2	30							
127 生理学Ⅱ	2			30					
128 生理学実習	1				45				
129 運動学Ⅰ	2			30					
130 運動学Ⅱ	2				30				
131 運動学実習	1					45			
132 発達障害学	2			30					
133 身体機能学Ⅰ	2	30							
134 身体機能学Ⅱ	2			30					
135 病理学	2				30				
136 精神障害学	2					30			
137 神経内科障害学	2				30				
138 骨関節障害学	2				30				
139 医学・医療概説	2			30					
140 外科系障害学	2				30				
141 内科系障害学	2					30			
142 身体機能障害学Ⅰ	2				30				
143 身体機能障害学Ⅱ	2					30			
144 リハビリテーション概論	2	30							
145 リハビリテーション医学	2			30					
合計		45		180	225	255	135	0	0

理学療法学科 【専門分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
専門分野	基礎理学療法学	151 理学療法概論	2	30					
		152 基礎理学療法学Ⅰ	2	30					
		153 基礎理学療法学Ⅱ	2		30				
		154 研究方法論	2						30
	理学療法管理学	155 理学療法管理学	2				30		
	理学療法評価学	156 理学療法評価学Ⅰ	2	30					
		157 理学療法評価学Ⅱ	2		30				
		158 理学療法評価学Ⅲ	2			30			
		159 理学療法評価学演習	1				30		
		160 理学療法評価学実習Ⅰ	1		45				
		161 理学療法評価学実習Ⅱ	1			45			
		162 理学療法評価学実習Ⅲ	1				45		
	理学療法治療学	163 運動療法学	2		30				
		164 物理療法学	2			30			
		165 物理療法学実習	1				45		
		166 義肢装具学	2			30			
		167 義肢装具学実習	1				45		
		168 日常生活技術学	2		30				
		169 日常生活技術学実習	1			45			
		170 理学療法治療学各論Ⅰ	2		30				
		171 理学療法治療学各論Ⅱ	2			30			
		172 理学療法治療学各論Ⅲ	2			30			
		173 理学療法治療学各論Ⅳ	2				30		
		174 理学療法治療学各論Ⅴ	2				30		
		175 理学療法治療学実習	1				45		
		176 理学療法治療技術学Ⅰ	4						60
	177 理学療法治療技術学Ⅱ	4						60	
	178 理学療法治療技術学Ⅲ	4						60	
地域理学療法学	179 地域理学療法学Ⅰ	2		30					
	180 地域理学療法学Ⅱ	2			30				
臨床実習	181 基礎理学療法学臨床実習	1				45			
	182 理学療法評価学臨床実習	4				180			
	183 理学療法総合臨床実習Ⅰ	7					315		
	184 理学療法総合臨床実習Ⅱ	7					315		
	185 地域理学療法学臨床実習	1						45	
合計		78	90	225	270	525	630	255	

作業療法学科 【基礎分野・専門基礎分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
			基礎分野	科学的思考の基盤	301	情報科学	2	30	
人間と生活	302	心理学		2		30			
社会の理解	303	コミュニケーション学		2	30				
	304	ライフスポーツ演習		1	30				
	305	生物学		2	30				
	306	物理学		2		30			
	307	英語		2	30				
	308	基礎セミナーⅠ		2	30				
	309	基礎セミナーⅡ		2		30			
	310	キャリアデザイン学Ⅰ		2			30		
	311	キャリアデザイン学Ⅱ		2				30	
合計		21		180	90	30	30	0	0

	授業科目	単位	1年		2年		3年			
			前	後	前	後	前	後		
			専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	321	解剖学Ⅰ	2	30		
	322	解剖学Ⅱ		2	30					
	323	解剖学演習		1	30					
	324	解剖学実習		1		45				
	325	機能解剖演習		1			30			
	326	生理学Ⅰ		2	30					
	327	生理学Ⅱ		2		30				
	328	生理学実習		1			45			
	329	運動学Ⅰ		2		30				
	330	運動学Ⅱ		2			30			
	331	発達障害学		2		30				
	332	身体機能学Ⅰ		2	30					
	333	身体機能学Ⅱ		2		30				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	334		病理学	2			30		
		335		精神障害学	2				30	
		336		神経内科障害学	2			30		
		337		骨関節障害学	2			30		
		338		医学・医療概説	2		30			
		339		外科系障害学	2			30		
		340		内科系障害学	2				30	
		341		身体機能障害学Ⅰ	2			30		
		342		身体機能障害学Ⅱ	2				30	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	343		リハビリテーション概論	2	30				
		344		リハビリテーション医学	2		30			
合計		44		180	225	255	90	0	0	

作業療法学科 【専門分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年	
			前	後	前	後	前	後
専門分野	基礎作業療法学	351 作業療法概論	2	30				
		352 基礎作業学	2	30				
		353 基礎作業学実習	1		45			
	作業療法管理学	354 作業療法管理学	2		30			
	作業療法評価学	355 作業療法評価学実習Ⅰ	1	45				
		356 作業療法評価学実習Ⅱ	1		45			
		357 作業療法評価学実習Ⅲ	1			45		
		358 日常生活動作学Ⅰ	2		30			
		359 日常生活動作学Ⅱ	2			30		
		360 日常生活動作学実習	1				45	
	作業療法治療学	361 身体障害作業療法学Ⅰ	2		30			
		362 身体障害作業療法学Ⅱ	2			30		
		363 身体障害作業療法学実習	1				45	
		364 精神障害作業療法学	2			30		
		365 精神障害作業療法学実習	1				45	
		366 発達障害作業療法学	2			30		
		367 発達障害作業療法学演習	1				30	
		368 作業療法研究方法論	2					30
		369 作業療法研究方法論演習	1					30
		370 作業療法治療学演習Ⅰ	1	30				
		371 作業療法治療学演習Ⅱ	1		30			
		372 作業療法治療学演習Ⅲ	1			30		
		373 作業療法治療学演習Ⅳ	1				30	
		374 作業療法治療学実習	2				45	
		375 作業療法治療技術学Ⅰ	2					30
		376 作業療法治療技術学Ⅱ	2					30
		377 作業療法治療技術学Ⅲ	2					30
	378 作業療法治療技術学Ⅳ	2					30	
	379 作業療法治療技術学Ⅴ	2					30	
	380 作業療法治療技術学Ⅵ	2					30	
地域作業療法学	381 地域作業療法学Ⅰ	2			30			
	382 地域作業療法学Ⅱ	2				30		
臨床実習	383 基礎作業療法学臨床実習Ⅰ	1		45				
	384 基礎作業療法学臨床実習Ⅱ	2				90		
	385 作業療法評価学臨床実習	5				225		
	386 作業療法総合臨床実習Ⅰ	7					315	
	387 作業療法総合臨床実習Ⅱ	7					315	
合計		73	135	255	225	585	660	210

理学療法学科

基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
101	情報科学	1年 前期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題45%、発表45%		

【講義目的】

情報についてのマナーを知り、情報を活用するために必要な情報収集と判断・処理する力、情報をまとめる力（Word・Power Point・Excelを用いた作成）、情報を発信する力を身に着ける。加えてAIの活用についての紹介やレポート作成方法についても学ぶ。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション
- 2 情報リテラシー①
- 3 情報リテラシー②
- 4 レポート作成について
- 5 情報収集の方法①
- 6 情報収集の方法②
- 7 情報収集のまとめかたについて
- 8 レポート作成①
- 9 レポート作成②
- 10 プレゼンテーションについて
- 11 プレゼンテーション資料の作成①
- 12 プレゼンテーション資料の作成②
- 13 発表
- 14 発表
- 15 表計算・グラフについて

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
102	心理学	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

将来、対人援助職につく上で必要となる心理学的知見と臨床心理学的技法を学ぶ。

【講義計画】

- 1 精神分析①
- 2 精神分析②
- 3 クライアント中心療法
- 4 フォーカシング
- 5 認知行動療法
- 6 マイクロカウンセリング
- 7 心理検査
- 8 学習
- 9 記憶
- 10 思考
- 11 パーソナリティー
- 12 ストレス
- 13 発達
- 14 コミュニケーション
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
103	コミュニケーション学	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

社会人・医療人として「人と生きる」ために必要不可欠なコミュニケーションスキルについて学ぶ。チーム医療を実践するための視野の拡大と洞察力、傾聴・共感する能力、相手の立場で物事を推察する能力、継続しやり遂げる能力等を身につける。

【講義計画】

- 1 「他己紹介」
- 2 「コミュニケーションとは？」
- 3 「必要とされる」人材
- 4 医療に欠かせない「接遇」
- 5 「マナーの重要性」
- 6 コミュニケーション①
- 7 コミュニケーション②
- 8 コミュニケーション③
- 9 コミュニケーション④
- 10 コミュニケーション⑤
- 11 コミュニケーション⑥
- 12 コミュニケーション⑦
- 13 コミュニケーション⑧
- 14 自我状態を知る
- 15 総括

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
104	ライフスポーツ演習	1年 前期	外部有識者・理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

障がいのある方たちがレクリエーションとして楽しみ、時には、アスリートとして競い合う様々な「スポーツ」があることを知り、理学療法士としての支援を学ぶ。

【講義計画】

- 1 障がい者のスポーツとは・様々なスポーツの紹介・車いすについて知る
- 2 障がい者のスポーツ支援：歴史
- 3 障がい者のスポーツ支援：障がい者スポーツの意義
- 4 障がい者のスポーツ支援：車いす体験 屋内編
- 5 障がい者のスポーツ支援：車いす体験 屋外編
- 6 障がい者のスポーツ支援：精神障害①
- 7 障がい者のスポーツ支援：精神障害②
- 8 障がい者のスポーツ支援：知的障害
- 9 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり①
- 10 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり②
- 11 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり③
- 12 障がい者スポーツ体験：風船バレーボール・ボッチャ
- 13 障がい者スポーツ体験：車いすバスケットボール他
- 14 障がい者スポーツ体験（車いすバスケットボール他） 外部
- 15 障がい者スポーツ体験（車いすバスケットボール他） 外部

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
105	生物学	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

細胞から個体へとつながりをもって学び、ヒトの体の構造・働きと病態との関わりを理解する

【講義計画】

- 1 細胞の基本的な構造と機能
- 2 血液の分類と免疫
- 3 免疫異常
- 4 循環器の仕組み①
- 5 循環器の仕組み②
- 6 呼吸器の仕組み
- 7 腎臓の仕組み①
- 8 腎臓の仕組み②
- 9 消化器の仕組み
- 10 ミトコンドリアとエネルギー代謝
- 11 核と遺伝
- 12 染色体と染色体異常
- 13 細胞膜と活動電位
- 14 シナプス伝達
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
106	物理学	1年 後期	外部有識者・理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

私たちの身の回りに存在する「なぜ？」に対して、物理学的に理解し、その学習を通して理学療法士として必要な「基礎知識」と「考える力と伝える力」の習得を目的とする。

【講義計画】

- 1 なぜ物理を学ぶのか？
- 2 ニュートンの法則1
- 3 ニュートンの法則2
- 4 摩擦力・運動量と力積
- 5 仕事とエネルギー
- 6 熱と温度
- 7 熱と温度 応用1
- 8 熱と温度 応用2
- 9 力のモーメント
- 10 関節運動のモーメント、そのつり合い
- 11 てこの原理
- 12 身体のでこ、重心の安定性
- 13 物理学の視点で考える理学療法1
- 14 物理学の視点で考える理学療法2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
107	英語	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	attitude10%、Mid-term examination45%、Termly examination45%		

【講義目的】

This course will provide students with preparatory skills for everyday medical and social communication in English. It will be achieved through self-expression by the students in a classroom atmosphere.

【講義計画】

- 1 Introduction of self in a social and formal situation
- 2 Introduction in medico-social situation
- 3 Written registration format and signature practice
- 4 Departure procedure from friends and acquaintances, How to address an envelope for foreign Correspondence
- 5 Terms for internal organs/lay terms for body parts
- 6 Introduction to phonics
- 7 Review
- 8 Lay terms for bones of the skeleton
- 9 Medical terms for bones of skeleton
- 10 Medical and lay terms for skeleton(continued)
- 11 Lay terms and medical terms for joint motion
- 12 Pair practice to conduct a basic medical interview
- 13 Orientation for foreign travel to a medical institute
- 14 Conversation at a medical institute
- 15 Review

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
108	基礎セミナー I	1年 前期	作業療法士・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

職場や地域社会で働くために必要な「社会人基礎力」について理解し、学生生活および地域活動において実践できる基礎的・行動を身につける。また、認知・情意・精神運動領域の特性を理解し、自らの学習行動に活かすことができる。

【講義計画】

- 1 社会人基礎力①（導入）
- 2 社会人基礎力②（ストレスコントロール）
- 3 社会人基礎力③（規律性）
- 4 社会人基礎力④（発信力）
- 5 情意・認知・精神運動領域（各領域の特徴）
- 6 情意領域（振る舞い・態度）
- 7 認知領域（学習行動への応用）
- 8 精神運動領域（技術について）
- 9 地域活動におけるコミュニケーション実践①
- 10 地域活動におけるコミュニケーション実践②
- 11 地域活動におけるコミュニケーション実践③
- 12 リハビリテーション関連職種の多様な職域①
- 13 リハビリテーション関連職種の多様な職域②
- 14 リハビリテーション関連職種の多様な職域③
- 15 リハビリテーション関連職種の多様な職域④

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
109	基礎セミナーⅡ	1年 後期	理学療法士・作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

医療人として求められる認知・情意領域を理解し、情報収集・要約・説明に関する基礎的能力を養う。また、地域活動実践を通して医療専門職としての態度を形成するとともに、理学療法士および作業療法士の役割を理解する。

【講義計画】

- 1 医療人に必要な認知領域
- 2 医療人に必要なスキル①
- 3 医療人に求められる基本スキル②
- 4 医療人に求められる基本スキル③
- 5 情報活用①（健康に関する情報収集）
- 6 情報活用②（健康情報の要約）
- 7 情報活用③（健康情報のプレゼンテーション）
- 8 情報活用④（医療・福祉制度に関する情報収集）
- 9 情報活用⑤（医療・福祉制度情報の要約）
- 10 情報活用⑥（医療・福祉制度情報のプレゼンテーション）
- 11 地域活動実践①
- 12 地域活動実践②
- 13 作業療法士と理学療法士の役割①
- 14 作業療法士と理学療法士の役割②
- 15 作業療法士と理学療法士の役割③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
110	キャリアデザイン学Ⅰ	2年 前期	理学療法士・作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

社会人として身に付けるべき所作・マナーや行動の際に求められることを理解し、実践できるようになる。そして「自己分析」を通して行動の目標を定め、自分の「キャリアデザイン」につなげる。

【講義計画】

- 1 キャリアデザインとは
- 2 「社会人基礎力」振り返り
- 3 身につけておくべき3つの領域
- 4 キャリアアップとは
- 5 PT・OTのキャリアアップ
- 6 自己分析・他己分析①
- 7 自己分析・他己分析②
- 8 自己PR
- 9 社会人としての所作・身だしなみ
- 10 自己PR・集団面接のポイント
- 11 就労に関する法律
- 12 医療介護福祉領域の課題と今後について
- 13 小論文①
- 14 小論文②
- 15 小論文③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
111	キャリアデザイン学Ⅱ	2年 後期	理学療法士・作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題70%、実技テスト15%		

【講義目的】

自分の「理学療法士」としてのキャリアデザインを行い、実現するために具体的に行動し準備を進める。

【講義計画】

- 1 就職ガイダンス
- 2 就職ガイダンス
- 3 就職ガイダンス
- 4 就職ガイダンス
- 5 就職活動 施設との連絡調整から
- 6 履歴書を書く：自己PR
- 7 履歴書を書く：企業研究
- 8 履歴書を書く：志望動機
- 9 面接に備える
- 10 模擬面接と作文①
- 11 模擬面接と作文②
- 12 企業が求める人材とは①多職種について知る
- 13 企業が求める人材とは②多職種との連携を考える
- 14 企業が求める人材とは③他職種連携の実践
- 15 先輩に聞く

專門基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
121	解剖学Ⅰ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、理学療法士が治療対象とする運動に関与する骨学・関節学・筋学について学ぶ。

【講義計画】

- 1 解剖学・総論
- 2 骨学・総論
- 3 骨学・上肢1
- 4 骨学・上肢2
- 5 骨学・上肢3
- 6 骨学・下肢1
- 7 骨学・下肢2
- 8 骨学・下肢3
- 9 骨学・体幹
- 10 骨学・頭蓋
- 11 関節
- 12 靭帯
- 13 筋・総論
- 14 筋・頭頸部
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
122	解剖学Ⅱ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、定期試験80%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では運動を行い身体を維持するための器官である循環器・脈管・呼吸器・消化器について学ぶ。

【講義計画】

- 1 循環器・脈管1
- 2 循環器・脈管2
- 3 循環器・脈管3
- 4 循環器・脈管4
- 5 循環器・脈管5
- 6 循環器・脈管6
- 7 呼吸器1
- 8 呼吸器2
- 9 呼吸器3
- 10 呼吸器4
- 11 消化器1
- 12 消化器2
- 13 消化器3
- 14 消化器4
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
123	解剖学演習	1年 前期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト30%、定期試験60%		

【講義目的】

骨学・循環器・脈管・消化器について学んだことを確認し、理解を深める。体表から骨指標が触知できるようになり、理学療法評価につなげる力を身につける。

【講義計画】

- 1 肩甲帯・上肢の骨 (肩甲骨)
- 2 肩甲帯・上肢の骨 (上腕骨・前腕骨)
- 3 肩甲帯・上肢の骨 (前腕骨・手の骨)
- 4 肩甲帯・上肢の骨まとめ (口頭試問)
- 5 骨盤帯・下肢の骨 (骨盤)
- 6 骨盤帯・下肢の骨 (大腿骨・下肢骨)
- 7 骨盤帯・下肢の骨 (足部の骨)
- 8 骨盤帯・下肢の骨まとめ (口頭試問)
- 9 体幹の骨 (脊柱)
- 10 体幹の骨 (胸郭)
- 11 循環器系の解剖
- 12 脈管系の解剖
- 13 呼吸器系の解剖
- 14 消化器系の解剖
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
124	解剖学実習	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、理学療法士が治療対象とする運動に関与する筋学、運動や身体全体の機能を調整する神経学を学ぶ。

【講義計画】

- 1 筋学・上肢
- 2 筋学・骨盤帯
- 3 筋学・下肢
- 4 筋学・胸部
- 5 筋学・腹部
- 6 筋学・背部
- 7 神経学総論
- 8 中枢神経 (脊髄・脳幹・小脳)
- 9 中枢神経 (大脳・伝導路1)
- 10 中枢神経 (大脳・伝導路2)
- 11 末梢神経 (脳神経)
- 12 末梢神経 (脊髄神経・自律神経)
- 13 実習1 (外部研修)
- 14 実習2 (外部研修)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
125	機能解剖演習	2年 前期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

各部位での骨格筋を確認し、四肢・体幹の運動を三次元的視点で理解する。運動機能評価の基本となる骨格筋の作用を理解する。

【講義計画】

- 1 上肢帯の筋と運動
- 2 肩の筋と運動
- 3 肘・手の筋と運動
- 4 手指の筋と運動
- 5 上肢・手指の操作
- 6 下肢（骨盤帯と筋）
- 7 下肢（大腿の前面・後面の筋）
- 8 下肢（大腿内側の筋）
- 9 下肢（下腿の筋）
- 10 下肢まとめ
- 11 体幹（頸部胸部の筋）
- 12 体幹（腹部背部の筋）
- 13 機能解剖の応用 1
- 14 機能解剖の応用 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
126	生理学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

身体を構成する組織と器官の構造と機能について、循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系について学ぶ。ヒトの生体機能の仕組みについて理解を深める。

【講義計画】

- 1 生命現象と人体、細胞の構造と機能
- 2 血液①
- 3 血液②
- 4 心臓と循環①
- 5 心臓と循環②
- 6 心臓と循環③
- 7 呼吸とガスの運搬①
- 8 呼吸とガスの運搬②
- 9 尿の生成と排泄①
- 10 尿の生成と排泄②
- 11 消化と吸収①
- 12 消化と吸収②
- 13 内分泌
- 14 代謝と体温
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
127	生理学Ⅱ	1年 後期	外部有識者・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、定期試験80%		

【講義目的】

生理学は生体機能のしくみを対象としており、本講義では、神経系、運動系、感覚系について概説し、病態や障害、理学療法に必要な評価・治療を理解する一助として、理解を深める。

【講義計画】

- 1 神経系の構造
- 2 興奮の伝導
- 3 ナトリウム-カリウムポンプ
- 4 シナプス伝達
- 5 筋の構造
- 6 神経の興奮伝導と末梢神経
- 7 中枢神経系 1
- 8 中枢神経系 2
- 9 中枢神経系 3
- 10 筋と骨
- 11 体性感覚
- 12 特殊感覚
- 13 生殖と発生・成長と老化
- 14 運動生理
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
128	生理学実習	2年 前期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、レポート10%、定期試験70%		

【講義目的】

主に神経生理学と呼吸・循環生理学の基礎的現象についての理解を深め、理学療法士が行う治療手段の理論的背景を学ぶ。また実験・解析装置の仕組みを理解し活用する。

【講義計画】

- 1 呼気ガス分析①
- 2 呼気ガス分析②
- 3 呼吸①
- 4 呼吸②
- 5 心電図①
- 6 心電図②
- 7 血圧①
- 8 血圧②
- 9 筋電図①
- 10 筋電図②
- 11 血糖値①
- 12 血糖値②
- 13 浮腫
- 14 感覚
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
129	運動学Ⅰ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

身体における関節構造を理解し、運動を骨・関節および筋活動の立場から捉え、さまざまな運動機能障害の理学療法評価や治療の基礎的知識として学ぶ。

【講義計画】

- 1 上肢の運動学総論
- 2 上肢の運動学①
- 3 上肢の運動学②
- 4 上肢の運動学③
- 5 上肢の運動学④
- 6 下肢の運動学総論
- 7 下肢の運動学①
- 8 下肢の運動学②
- 9 下肢の運動学③
- 10 下肢の運動学④
- 11 筋収縮
- 12 エネルギー代謝・呼吸・循環
- 13 身体とてこ①
- 14 身体とてこ②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
130	運動学Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

身体における各関節運動をもとに歩行や姿勢への影響について学ぶ。

【講義計画】

- 1 体幹の運動学①
- 2 体幹の運動学②
- 3 体幹の運動学③
- 4 体幹の運動学④
- 5 頭部・顔面の運動学①
- 6 頭部・顔面の運動学②
- 7 姿勢①
- 8 姿勢②
- 9 歩行①
- 10 歩行②
- 11 歩行③
- 12 歩行④
- 13 走行
- 14 運動学習
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
131	運動学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、レポート課題10%、定期試験70%		

【講義目的】

身体における基本的な動作および歩行について学習し動作の観察や分析を学ぶ。また、実習を通し、筋、関節運動、姿勢の特徴について理解を深める。

【講義計画】

- 1 姿勢・動作の観察と分析
- 2 歩行の観察①
- 3 歩行の観察②
- 4 歩行の分析
- 5 整形外科疾患の動作観察と分析①
- 6 整形外科疾患の動作観察と分析②
- 7 中枢神経疾患の動作観察と分析①
- 8 中枢神経疾患の動作観察と分析②
- 9 二関節筋
- 10 体圧分布
- 11 筋収縮
- 12 姿勢と重心動揺
- 13 三次元動作解析
- 14 考察
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
132	発達障害学	1年 後期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

人間の様々な機能の発達について理解を深め、小児疾患に対する理学療法の基礎を学ぶ。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション・なぜ発達学を学ぶのか・脳の成熟とヒトの発達
- 2 発達検査：総論、運動機能を確認する際のポイント
- 3 定型発達：新生児～2ヶ月
- 4 定型発達：3～6ヶ月
- 5 定型発達：8～12ヶ月
- 6 定型発達：歩行の発達、6歳までの粗大運動
- 7 微細運動の発達
- 8 発達検査：社会性や言語の発達
- 9 原始反射・姿勢反射：総論
- 10 原始反射①
- 11 原始反射②
- 12 原始反射③
- 13 姿勢反射①
- 14 姿勢反射②
- 15 姿勢反射③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
133	身体機能学Ⅰ	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト40%、定期試験50%		

【講義目的】

身体を構成する細胞・組織を器官系に大別し、本講義では、呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系の構造と機能について学ぶ。

【講義計画】

- 1 呼吸器系：解剖
- 2 呼吸器系：呼吸運動
- 3 呼吸器系：肺の血管
- 4 循環器系：心臓の構造
- 5 循環器系：刺激伝導系
- 6 循環器系：全身の動脈
- 7 循環器系：冠状動脈・脳動脈
- 8 循環器系：全身の静脈、リンパ
- 9 消化器系：消化器系の構造と機能
- 10 消化器系：食道以下の消化器
- 11 消化器系：食道以下の消化器
- 12 泌尿器系：腎臓の役割と構造
- 13 泌尿器系：腎臓の役割と構造
- 14 泌尿器系：尿管・膀胱・尿道
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
134	身体機能学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト30%、定期試験60%		

【講義目的】

身体を構成する細胞・組織を器官系に大別し、本講義では、神経系の構造と機能について学ぶ。

【講義計画】

- 1 中枢神経系：大脳、間脳
- 2 中枢神経系：脳幹、小脳
- 3 中枢神経系：脊髄
- 4 中枢神経系：伝導路
- 5 中枢神経系：脳室
- 6 末梢神経：末梢神経の機能
- 7 末梢神経：脳神経
- 8 末梢神経：脊髄神経
- 9 末梢神経：支配神経（運動_上肢）
- 10 末梢神経：支配神経（運動_下肢/体幹）
- 11 末梢神経：支配神経（感覚）
- 12 感覚：感覚の分類、皮膚の構造
- 13 感覚：感覚受容器
- 14 感覚：特殊感覚
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
135	病理学	2年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

理学療法に必要な疾患の原因、病変、経過、転帰などの本質を理解するための知識を学ぶ。

【講義計画】

- 1 退行性病変と代謝異常 1
- 2 退行性病変と代謝異常 2
- 3 循環障害
- 4 進行性病変
- 5 感染症
- 6 老化
- 7 炎症 1
- 8 炎症 2
- 9 免疫 1
- 10 免疫 2
- 11 腫瘍 1
- 12 腫瘍 2
- 13 先天異常 1
- 14 先天異常 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
136	精神障害学	2年 後期	医師・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

こころの病気についての特徴について学び、理学療法の評価・治療のための知識・理解を深める。

【講義計画】

- 1 精神疾患総論、精神医学的検査・診断法
- 2 心理検査
- 3 心理療法
- 4 統合失調症
- 5 統合失調症
- 6 精神保健 I
- 7 精神保健 II
- 8 対人支援
- 9 神経症性障害・ストレス関連障害
- 10 老年期精神障害
- 11 小児期精神障害・精神遅滞
- 12 精神保健福祉と医療
- 13 地域移行支援
- 14 気分障害・てんかん
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
137	神経内科障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

神経疾患とは中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経および筋の疾患を総称する。これらの疾患は運動機能を障害するため、リハビリテーションが必要となる。この講義では、脳機能の局在、意識とその障害について理解し、検査・治療（薬物治療を含む）について学ぶ。

【講義計画】

- 1 脳の病態
- 2 補助診断法
- 3 脳腫瘍
- 4 頭部外傷
- 5 脳血管障害
- 6 水頭症
- 7 先天奇形
- 8 認知症・高次脳機能障害
- 9 変性疾患：パーキンソン病
- 10 変性疾患：脊髄小脳変性症
- 11 脱髄疾患
- 12 末梢神経障害・感染疾患
- 13 筋疾患：筋ジストロフィー
- 14 脊椎・脊髄疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
138	骨関節障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

リハビリテーションを行う上で重要な整形外科分野の疾患に関し、最近のトピックスや診察（画像診断を含む）・治療（手術、薬物治療など）の現状を交えながら学習する。

【講義計画】

- 1 骨粗鬆症
- 2 骨折、外傷①
- 3 骨折、外傷②
- 4 末梢神経損傷（上・下肢）
- 5 変形性膝関節症（TKA含む）
- 6 変形性股関節症（THA含む）、大腿骨頸部骨折
- 7 骨系統疾患
- 8 腰椎椎間板ヘルニア
- 9 脊柱管狭窄症、すべり症
- 10 頰椎症、OPLL
- 11 脊椎損傷、脊髄損傷
- 12 骨腫瘍、緩和ケア
- 13 リウマチ
- 14 主要疾患以外の整形外科疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
139	医学・医療概説	1年 後期	医師・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

医療人として求められる基本的な倫理観、医療制度、および医療安全・感染対策を含む医療の基礎的理解を身につけることを目的とする。あわせて、心臓・呼吸などの基礎的生理機能、画像診断、薬物療法、予防医学などの知識をリハビリテーションとの関連の中で理解する。

【講義計画】

- 1 医学・医療倫理
- 2 医療システム
- 3 医療安全管理と感染予防
- 4 画像診断
- 5 リハビリテーションと薬物治療
- 6 予防医学
- 7 生命の基礎構成・栄養①
- 8 生命の基礎構成・栄養②
- 9 心臓生理学の基礎
- 10 呼吸生理学の基礎
- 11 神経生理学の基礎
- 12 救急対応の基礎①
- 13 救急対応の基礎②
- 14 救急対応の基礎③
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
140	外科系障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

理学療法の対象となる代表的な外科的治療対象となる疾患の病態を知り、どのような医学的検査（画像診断を含む）・治療（薬物療法を含む）が行われているかを学ぶ。そして、各疾患に必要なリハビリテーション医療についての理解を深める。

【講義計画】

- 1 心臓外科① 成人心臓手術
- 2 心臓外科② 手術，動脈疾患
- 3 心臓外科③ 先天性心疾患
- 4 心臓外科④ 後天性心疾患
- 5 心臓外科⑤ 静脈疾患
- 6 心臓外科⑥ 解剖，病態
- 7 心臓外科⑦ 心臓リハビリテーション
- 8 脳外科①
- 9 脳外科②
- 10 脳外科③
- 11 小児整形外科①
- 12 小児整形外科②
- 13 小児整形外科③
- 14 小児整形外科④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
141	内科系障害学	2年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

成人・小児の内科的疾患の病態生理や症状、検査（画像診断を含む）・治療（薬物治療を含む）を学び、各疾患に対し理学療法を行えるよう、そして、内科的疾患を合併する対象者への安全で効果的な対応につなげる。

【講義計画】

- 1 内科総論
- 2 内科：代謝・内分泌疾患
- 3 内科：消化器疾患
- 4 内科：腎臓疾患
- 5 内科：呼吸器疾患①
- 6 内科：呼吸器疾患②
- 7 内科：循環器疾患①
- 8 内科：循環器疾患②
- 9 小児科総論
- 10 小児科：先天性異常・遺伝と病気
- 11 小児科：てんかん・発達障害
- 12 小児科：循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
- 13 小児科：消化器疾患・内分泌・代謝疾患
- 14 小児科：悪性腫瘍・重症心身障がい
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
142	身体機能障害学 I	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、中間テスト45%、定期試験45%		

【講義目的】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義計画】

- 1 骨関節障害①
- 2 骨関節障害②
- 3 骨関節障害③
- 4 骨関節障害④
- 5 骨関節障害⑤
- 6 骨関節障害⑥
- 7 中枢神経障害①
- 8 中枢神経障害②
- 9 中枢神経障害③
- 10 中枢神経障害④
- 11 中枢神経障害⑤
- 12 中枢神経障害⑥
- 13 栄養とリハビリテーション
- 14 薬物療法とリハビリテーション
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
143	身体機能障害学Ⅱ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、中間テスト45%、定期試験45%		

【講義目的】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義計画】

- 1 循環器疾患①
- 2 循環器疾患②
- 3 循環器疾患③
- 4 循環器疾患④
- 5 呼吸器疾患①
- 6 呼吸器疾患②
- 7 呼吸器疾患③
- 8 消化器疾患①
- 9 消化器疾患②
- 10 代謝性疾患
- 11 内分泌疾患
- 12 腎疾患
- 13 血液疾患・膠原病
- 14 廃用症候群・加齢
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
144	リハビリテーション概論	1年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題95%		

【講義目的】

1. リハビリテーションの定義・意義を知り、社会におけるリハビリテーション専門職の役割を理解する。
2. 各分野のリハビリテーションを知ることによって、より具体的に作業・理学療法士の役割を学ぶ。

【講義計画】

- 1 リハビリテーションの範囲、リハビリテーションマインド
- 2 障害とは（ICF）・障害受容について
- 3 多職種連携（チーム医療）について
- 4 医学的リハビリテーション
- 5 リハビリテーション関連の医学的基礎知識
- 6 理学療法について
- 7 作業療法について
- 8 職業的リハビリテーション
- 9 生活期（地域）のリハビリテーション
- 10 摂食嚥下（栄養）のリハビリテーション
- 11 義肢装具分野のリハビリテーション
- 12 福祉用具分野のリハビリテーション
- 13 シーティング（車椅子）のリハビリテーション
- 14 住環境のリハビリテーション
- 15 災害時のリハビリテーション

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
145	リハビリテーション医学	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

リハビリテーション医療の全体を把握するとともに、各専門職の役割とチームアプローチの重要性を学ぶ。さらに、リハビリテーション医療が治療対象とする様々な障害の病態を理解し、その評価と治療についての知識を深める。

【講義計画】

- 1 リハビリテーション医学・医療の流れ
- 2 リハビリテーション診療① ADL評価
- 3 リハビリテーション診療② 画像診断学
- 4 リハビリテーション診療③ 電気診断学
- 5 リハビリテーション診療④ 治療
- 6 障害の評価と治療① 廃用症候群
- 7 障害の評価と治療② 運動障害と歩行障害
- 8 障害の評価と治療③ 循環機能障害と呼吸の障害
- 9 障害の評価と治療④ 摂食・嚥下障害とリハ栄養・褥瘡
- 10 障害の評価と治療⑤ 排尿障害と腎障害
- 11 障害の評価と治療⑥ 痙縮・固縮
- 12 障害の評価と治療⑦ 高次脳機能障害
- 13 障害の評価と治療⑧ 加齢による障害と発達障害
- 14 障害の評価と治療⑨ 障害受容
- 15 まとめ

専門分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
151	理学療法概論	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

理学療法（理学療法士）の歴史・概念を学び、さまざまな活動分野で理学療法士が社会に対して果たす役割と課題について理解する。

【講義計画】

- 1 理学療法の概念と役割
- 2 理学療法の手段
- 3 物理療法
- 4 義肢装具療法
- 5 理学療法の活躍の場
- 6 理学療法の倫理
- 7 理学療法用語
- 8 理学療法の方法①
- 9 理学療法の方法②
- 10 理学療法の対象①
- 11 理学療法の対象②
- 12 理学療法の対象③
- 13 理学療法の対象④
- 14 理学療法に関わる医療・福祉制度
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
152	基礎理学療法学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

理学療法士として日常生活動作の障害をとらえるために、各動作の特徴を学ぶ。また、理学療法の中心となる運動療法について学ぶ。

【講義計画】

- 1 四肢・体幹の運動①
- 2 四肢・体幹の運動②
- 3 運動療法の実際：他動運動①
- 4 運動療法の実際：他動運動②
- 5 運動療法の実際：抵抗運動①
- 6 運動療法の実際：抵抗運動②
- 7 日常生活動作・基本動作とは
- 8 動作の観察と分析
- 9 基本動作のとらえ方と誘導・介助① 臥位・寝返り
- 10 基本動作のとらえ方と誘導・介助② 起き上がりから座位
- 11 基本動作のとらえ方と誘導・介助③ 移乗
- 12 基本動作のとらえ方と誘導・介助④ 立ち上がりから立位
- 13 基本動作のとらえ方と誘導・介助⑤ 歩行
- 14 基本動作のとらえ方と誘導・介助⑥ 杖・歩行補助具など
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
153	基礎理学療法学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題30%、定期試験55%		

【講義目的】

各種疾患の概略を知り、理学療法を行う上での評価・治療との関連性を学ぶ。

【講義計画】

- 1 評価・治療の考え方
- 2 拘縮、筋力低下
- 3 整形外科疾患①
- 4 整形外科疾患②
- 5 中枢神経疾患①
- 6 中枢神経疾患②
- 7 理学療法手段①
- 8 理学療法手段②
- 9 理学療法手段③
- 10 理学療法手段④
- 11 理学療法手段⑤
- 12 理学療法手段⑥
- 13 理学療法手段⑦
- 14 理学療法手段⑧
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
154	研究方法論	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

研究の意義や研究論文を適切に読み解く能力を修得する。さらに、エビデンス（根拠）に基づく理学療法実践の展開力を身に付けるため、研究の基礎を学ぶ。

【講義計画】

- 1 研究方法：研究の意義
- 2 研究方法：研究デザイン①
- 3 研究方法：研究デザイン②
- 4 文献の種類
- 5 文献抄読
- 6 症例検討①
- 7 症例検討②
- 8 研究計画と倫理
- 9 研究方法：統計解析と検定
- 10 先行研究の調査
- 11 データの採集
- 12 結果のまとめ
- 13 考察
- 14 研究発表
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
155	理学療法管理学	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題5%、定期試験80%		

【講義目的】

リハビリテーション部門における組織構造を理解し、管理という視点から業務に対する理解を深める。また、質の高い理学療法を提供するため、病期や疾患に応じたリスク管理を学ぶ。

【講義計画】

- 1 リハビリテーションにおける管理①
- 2 リハビリテーションにおける管理②
- 3 組織構造について
- 4 倫理とは
- 5 理学療法士としての倫理
- 6 自己研鑽、理学療法教育
- 7 多職種連携
- 8 病期別管理①急性期
- 9 病期別管理②回復期
- 10 病期別管理③生活期
- 11 疾患別リスク管理①
- 12 疾患別リスク管理②
- 13 疾患別リスク管理③
- 14 疾患別リスク管理④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
156	理学療法評価学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、定期試験80%		

【講義目的】

理学療法を行う上で必要不可欠な評価の意義を理解する。この講義では一般的な評価事項やバイタルサイン、形態測定についてその目的・具体的な手技・進め方を学ぶ。

【講義計画】

- 1 評価の概念
- 2 情報収集と手段
- 3 評価の流れ
- 4 臨床推論の進め方
- 5 医療面接
- 6 バイタルサイン：視診、意識
- 7 バイタルサイン：血圧
- 8 バイタルサイン：脈拍、呼吸、経皮的酸素飽和度
- 9 形態測定総論
- 10 形態測定：上肢長
- 11 形態測定：下肢長
- 12 形態測定：上肢周径
- 13 形態測定：下肢周径
- 14 形態異常と臨床推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
157	理学療法評価学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、定期試験70%		

【講義目的】

理学療法評価の意義、検査・測定法について、その目的・具体的な手技・進め方を学ぶ。得られた評価結果のとらえ方を学ぶ。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション・痛みの評価
- 2 痛みと臨床推論
- 3 反射検査①
- 4 反射検査②
- 5 知覚検査①
- 6 知覚検査②
- 7 知覚・反射と臨床推論
- 8 姿勢反応検査①
- 9 姿勢反応検査②
- 10 姿勢反応検査③
- 11 姿勢反応と臨床推論
- 12 バランス・平衡機能検査①
- 13 バランス・平衡機能検査②
- 14 バランス・平衡機能と臨床推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
158	理学療法評価学Ⅲ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、定期試験70%		

【講義目的】

中枢神経疾患の病態を把握するための評価について学ぶ。また、中枢神経疾患に合併し、理学療法を行うにあたって問題となる言語聴覚障害・高次脳機能障害について理解し、その評価について学ぶ。

【講義計画】

- 1 協調性検査
- 2 協調性と臨床推論
- 3 筋緊張検査
- 4 筋緊張と臨床推論
- 5 片麻痺機能検査①
- 6 片麻痺機能検査②
- 7 片麻痺機能検査③
- 8 片麻痺機能と臨床推論
- 9 脳神経検査
- 10 脳神経検査と臨床推論
- 11 高次脳機能障害の評価①
- 12 高次脳機能障害の評価②
- 13 構音障害の評価
- 14 摂食嚥下障害の評価
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
159	理学療法評価学演習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、レポート課題10%、定期試験70%		

【講義目的】

これまでに学んできた理学療法評価の意義・手技を復習し、各疾患に対しどのように評価を実施していくかを具体的に学ぶ。そして、評価結果の統合と解釈に基づき、治療への展開していく過程を理解する。

【講義計画】

- 1 座位、立位、寝返りの観察
- 2 座位、立位、寝返りの分析
- 3 立ち上がり、起き上がりの観察
- 4 立ち上がり、起き上がりの分析
- 5 中枢神経疾患：評価①
- 6 中枢神経疾患：評価②
- 7 中枢神経疾患：評価の統合と解釈・考察①
- 8 中枢神経疾患：評価の統合と解釈・考察②
- 9 中枢神経疾患：POSシステム（SOAP）を用いた臨床記録
- 10 整形外科疾患：POSシステム（SOAP）を用いた臨床記録
- 11 整形外科疾患：評価①
- 12 整形外科疾患：評価②
- 13 整形外科疾患：評価の統合と解釈・考察①
- 14 整形外科疾患：評価の統合と解釈・考察②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
160	理学療法評価学実習 I	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、実技テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

理学療法士が運動器の評価として行う関節可動域の検査・測定法である「関節可動域測定法」の意義、評価を行う際に必要な手技を学ぶ。

【講義計画】

- 1 関節可動域測定総論
- 2 関節可動域測定の目的
- 3 測定の手順、ランドマーク触診
- 4 肩関節の測定
- 5 肘関節・前腕の測定
- 6 手関節の測定
- 7 上肢まとめ
- 8 股関節の測定
- 9 膝関節の測定
- 10 足関節・足部の測定
- 11 下肢まとめ
- 12 頸部・胸腰部の測定
- 13 肩甲帯の測定
- 14 関節可動域制限と臨床推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
161	理学療法評価学実習Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、中間テスト45%、実技テスト70%		

【講義目的】

理学療法士が運動器の評価として行う筋力の検査・測定法である「徒手筋力検査法」・「整形外科的テスト」の意義、評価を行う際に必要な手技を学ぶ。

【講義計画】

- 1 徒手筋力検査法・総論
- 2 肩関節の測定
- 3 肘関節・前腕・手関節の測定
- 4 肩甲帯の測定
- 5 上肢の筋力低下と臨床推論
- 6 頭頸部・体幹の測定
- 7 股関節の測定①
- 8 股関節の測定②
- 9 膝関節の測定
- 10 足関節の測定
- 11 下肢・体幹の筋力低下と臨床推論
- 12 整形外科的テスト（上肢）
- 13 整形外科的テスト（下肢）
- 14 整形外科的テスト（体幹）
- 15 整形外科的テストと臨床推論

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
162	理学療法評価学実習Ⅲ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、実技テスト70%		

【講義目的】

これまでに学んできた理学療法評価の意義・手技を確認し、臨床の場面で実践できる応用力を身につける。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション、カルテの記載
- 2 BRS、SIAS、FRT、MAS
- 3 FBS、TUG、感覚検査、腱反射
- 4 整形外科疾患術後の理学療法の考え方
- 5 中枢神経疾患の理学療法の考え方
- 6 統合と解釈
- 7 整形疾患に対する問題点抽出とプログラム立案
- 8 形態測定
- 9 ROM
- 10 MMT
- 11 OSCE形式による臨床技能演習
- 12 実技テスト
- 13 中枢神経疾患に対する問題点抽出とプログラム立案
- 14 各種疾患に対する評価
- 15 各種画像の見方

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
163	運動療法学	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

理学療法の3本柱の一つである運動療法について、動くと言うことを課題にして関節ならびに筋の特性を学び、理学療法対象疾患の運動療法について理解する。

【講義計画】

- 1 運動療法の概念・基礎
- 2 リスク管理
- 3 コンディショニング
- 4 関節可動域制限に対する運動療法
- 5 筋機能障害に対する運動療法
- 6 協調運動障害に対する運動療法
- 7 基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法
- 8 全身持久力改善のための運動療法
- 9 感覚障害に対する運動療法
- 10 がん患者の運動療法
- 11 腎機能障がい者の運動療法
- 12 高齢者の運動療法
- 13 健康増進のための運動療法
- 14 各疾患の運動処方
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
164	物理療法学	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

物理療法に必要な知識を学ぶとともに、各機器の物理学的特徴や、生理学的な作用等を理解する。

【講義計画】

- 1 物理療法学総論
- 2 臨床適応と評価
- 3 温熱療法総論
- 4 温熱療法の種類
- 5 寒冷療法
- 6 電磁波療法の特性
- 7 電磁波療法の種類
- 8 超音波療法の特性
- 9 超音波療法
- 10 電気刺激療法総論
- 11 電気刺激療法各論
- 12 光線療法
- 13 牽引療法
- 14 水治療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
165	物理療法学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題10%、定期試験75%		

【講義目的】

物理療法に関する知識を深めるとともに、治療上必要とされる基本的な知識・技術を学び、また実際に経験することで、各種療法の特徴を理解し、臨床応用する力を身につける。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション (1) 実習の目的と方法
- 2 オリエンテーション (2) 各機器使用の実際と注意点
- 3 実習①ホットパック
- 4 実習②寒冷療法
- 5 実習③パラフィン浴
- 6 実習④極超短波療法、超短波療法
- 7 実習⑤超音波療法
- 8 実習⑥低周波療法
- 9 実習⑦レーザー療法
- 10 実習⑧水治療法
- 11 実習⑨頸椎牽引療法
- 12 実習⑩腰椎牽引療法
- 13 実習のまとめ (1) 実技フィードバック
- 14 実習のまとめ (2) 課題レポートフィードバック
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
166	義肢装具学	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

義肢装具の目的、名称、形状などを理解する。実物を利用しながら、各種義肢装具への理解を深める。

【講義計画】

- 1 義肢・装具の総論
- 2 靴型装具の種類と特徴
- 3 短下肢装具の種類と特徴
- 4 各種継手（装具）の種類と特徴
- 5 長下肢装具の種類と特徴
- 6 体幹装具の種類と特徴
- 7 頸椎装具と前腕装具の特徴
- 8 各種疾患の装具
- 9 断端管理と計測の方法
- 10 各種ソケットの種類と特徴
- 11 各種継手（義足）の種類と特徴
- 12 下腿義足のスタティックアライメント
- 13 大腿義足のダイナミックアライメント①
- 14 大腿義足のダイナミックアライメント②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
167	義肢装具学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題15%、定期試験80%		

【講義目的】

義肢装具の臨床的適応について学ぶ。実際に装着する等の経験やデモンストレーションを通して理解を深める。また、チーム医療として義肢装具士の役割について理解する。

【講義計画】

- 1 総論Ⅰ：装具について
- 2 各論Ⅰ装具：1) 靴形装具、短下肢装具
- 3 各論Ⅰ装具：2) 短下肢装具・長下肢装具
- 4 各論Ⅰ装具：3) その他の下肢装具
- 5 各論Ⅰ装具：4) 頸椎・体幹装具
- 6 各論Ⅰ装具：5) 上肢装具
- 7 各論Ⅰ実習：6) 陰性モデルの採型（上肢）陽性モデルの作成・修正
- 8 各論Ⅰ実習：7) 軟性装具の装着
- 9 総論Ⅱ：切断について
- 10 各論Ⅱ上肢切断：1) 義手について
- 11 各論Ⅱ下肢切断：2) 義足パーツ（継手等）、義足ソケットについて
- 12 各論Ⅱ下肢切断：3) 義足のアライメントと跛行（動画によるデモ）
- 13 各論Ⅱ下肢切断：4) 義足歩行における跛行の原因
- 14 各論Ⅱ下肢切断：5) 義足歩行における跛行の模擬的再現
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
168	日常生活技術学	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

日常生活活動（ADL）の定義・概念・目的・方法などを学び、代表的なADL評価方法についてその内容・適応を理解する。

【講義計画】

- 1 ADLの概念と範囲
- 2 ADLとQOL
- 3 ADLとICF
- 4 ADL評価方法
- 5 杖の種類と調節方法
- 6 車椅子の種類と採寸方法
- 7 住環境整備
- 8 FIMとBarthel Indexの特徴
- 9 FIMの採点方法①
- 10 FIMの採点方法②
- 11 FIMの採点方法③
- 12 FIMの採点方法④
- 13 FIMの採点方法⑤
- 14 FIMの採点方法⑥
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
169	日常生活技術学実習	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

日常生活技術学で学んだ基礎知識をもとに、実際の動作方法や介助・練習指導方法を理解する。また、各疾患の特徴を踏まえた評価と治療の展開のための基本的な考え方や方法を学ぶ。

【講義計画】

- 1 食事
- 2 整容
- 3 入浴
- 4 更衣
- 5 排泄
- 6 移動①
- 7 移動②
- 8 移乗
- 9 階段昇降
- 10 基本動作
- 11 ケーススタディ①（脊髄損傷、ALS）
- 12 ケーススタディ②（排泄）
- 13 ケーススタディ③（入浴）
- 14 ケーススタディ④（歩行、移乗練習）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
170	理学療法治療学各論 I	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

運動療法学で学んだ基礎知識及び基本的な運動療法をもとに、整形外科疾患に対する基本的な運動療法の定義、目的、注意事項、運動療法について学ぶ。

【講義計画】

- 1 変形性関節症①
- 2 変形性関節症②
- 3 人工関節置換術後①
- 4 人工関節置換術後②
- 5 骨折・脱臼①
- 6 骨折・脱臼②
- 7 関節リウマチ
- 8 スポーツ損傷
- 9 靭帯損傷
- 10 脊椎疾患
- 11 腰痛症
- 12 肩関節周囲炎
- 13 腱板損傷
- 14 末梢神経損傷
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
171	理学療法治療学各論Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

運動療法学で学んだ基礎知識及び基本的な運動療法をもとに、中枢神経疾患に対する基本的な運動療法の定義、目的、注意事項、運動療法について学ぶ。

【講義計画】

- 1 脳血管障害①
- 2 脳血管障害②
- 3 脳血管障害③
- 4 脳血管障害④
- 5 高次脳機能障害・認知症
- 6 頸髄損傷①
- 7 頸髄損傷②
- 8 頸髄損傷③
- 9 パーキンソン病①
- 10 パーキンソン病②
- 11 脊髄小脳変性症
- 12 多発性硬化症
- 13 筋萎縮性側索硬化症①
- 14 筋萎縮性側索硬化症②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
172	理学療法治療学各論Ⅲ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、中間テスト35%、定期試験45%		

【講義目的】

末梢神経疾患・筋疾患等で治療対象となる疾患の特徴を理解し、理学療法を行う為の評価・治療の展開について学ぶ。

【講義計画】

- 1 ギラン・バレー症候群
- 2 重症筋無力症
- 3 筋ジストロフィー①
- 4 筋ジストロフィー②
- 5 脊髄性筋萎縮症（SMA）、多発性筋炎・皮膚筋炎
- 6 末梢神経損傷①
- 7 末梢神経損傷②
- 8 染色体異常（ダウン症候群）
- 9 脳性麻痺①
- 10 脳性麻痺②
- 11 脳性麻痺③
- 12 重症心身障害、脳性麻痺児の評価・治療
- 13 二分脊椎
- 14 低出生体重児（早産児）、骨系統疾患、発達性協調運動障害
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
173	理学療法治療学各論Ⅳ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

内部障害の理学療法について、循環器疾患・呼吸器疾患・代謝性疾患を取り上げ、必要な生理学・病理学を理解し基本的な検査・評価・リスク管理・運動療法を理解する。

【講義計画】

- 1 心疾患と心機能評価
- 2 運動耐容能の評価
- 3 心電図
- 4 循環器疾患の運動療法
- 5 呼吸生理
- 6 呼吸器機能評価①
- 7 呼吸器機能評価②
- 8 呼吸器疾患について①
- 9 呼吸器疾患について②
- 10 呼吸器疾患の理学療法
- 11 呼吸器疾患の理学療法
- 12 代謝性疾患（糖尿病）の病態と評価
- 13 糖尿病に対する運動療法の種類と効果
- 14 腎疾患に対する運動療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
174	理学療法治療学各論Ⅴ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、定期試験80%		

【講義目的】

内部障害の症例を通し、理学療法評価・プログラムの立案について学ぶ。

【講義計画】

- 1 呼吸器疾患①
- 2 呼吸器疾患②
- 3 呼吸器疾患③
- 4 呼吸器疾患④
- 5 循環器疾患①
- 6 循環器疾患②
- 7 代謝性疾患①
- 8 代謝性疾患②
- 9 腎疾患①
- 10 腎疾患②
- 11 がん①
- 12 がん②
- 13 血管・リンパ系疾患①
- 14 血管・リンパ系疾患②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
175	理学療法治療学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、実技テスト70%		

【講義目的】

各疾患の理学療法・処置について、実習を通じて知識・技術を学ぶ。

【講義計画】

- 1 他動運動
- 2 ストレッチング
- 3 筋力増強運動（等尺性収縮、抵抗運動）
- 4 OSCE形式による臨床技能演習
- 5 実技テスト
- 6 吸引・吸痰①
- 7 吸引・吸痰②
- 8 症例検討①（オリエンテーション）
- 9 症例検討②（情報収集、面接、評価プラン立案）
- 10 症例検討③（評価実施、まとめ）
- 11 症例検討④（ICF、問題点抽出、治療プラン立案）
- 12 症例検討⑤（治療実施、まとめ）
- 13 症例検討⑥（レポート作成、発表）
- 14 各種疾患に対する理学療法
- 15 臨床実習に向けて

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
176	理学療法治療技術学 I	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

基礎医学、臨床医学の知識を確認し、理学療法技術の基礎・応用を学ぶ

【講義計画】

- 1 基礎医学①
- 2 基礎医学②
- 3 基礎医学③
- 4 基礎医学④
- 5 基礎医学⑤
- 6 基礎医学⑥
- 7 基礎医学⑦
- 8 臨床医学①
- 9 臨床医学②
- 10 臨床医学③
- 11 臨床医学④
- 12 臨床医学⑤
- 13 臨床医学⑥
- 14 臨床医学⑦
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
177	理学療法治療技術学Ⅱ	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

基礎医学、臨床医学の知識を確認し、理学療法技術の基礎・応用を学ぶ。

【講義計画】

- 1 基礎医学①
- 2 基礎医学②
- 3 基礎医学③
- 4 基礎医学④
- 5 基礎医学⑤
- 6 基礎医学⑥
- 7 基礎医学⑦
- 8 臨床医学①
- 9 臨床医学②
- 10 臨床医学③
- 11 臨床医学④
- 12 臨床医学⑤
- 13 臨床医学⑥
- 14 臨床医学⑦
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
178	理学療法治療技術学Ⅲ	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

これまで学んできた、理学療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。

【講義計画】

- 1 評価学
- 2 評価学
- 3 評価学
- 4 運動療法
- 5 運動療法
- 6 日常生活活動
- 7 義肢・装具学
- 8 物理療法
- 9 中枢神経疾患の理学療法
- 10 整形外科疾患の理学療法
- 11 神経筋疾患の理学療法
- 12 脊髄損傷の理学療法
- 13 小児の理学療法
- 14 内部障害に対する理学療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
179	地域理学療法学Ⅰ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

地域リハビリテーションチームの一員として必要な他部門との連携及び全般的なシステムについて学ぶ。施設（医療・介護等）での職業倫理と管理について理解する。

【講義計画】

- 1 地域リハビリテーションの概念
- 2 職業倫理について
- 3 地域理学療法について
- 4 多職種連携
- 5 地域連携①
- 6 地域連携②
- 7 地域包括ケアシステムの考え方
- 8 地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割
- 9 介護予防（地域支援事業）
- 10 介護保険下での理学療法
- 11 通所リハビリテーション①
- 12 通所リハビリテーション②
- 13 訪問リハビリテーション①
- 14 訪問リハビリテーション②
- 15 レポートまとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
180	地域理学療法学Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、レポート課題70%		

【講義目的】

地域リハビリテーションにおいて必要な、医療・保健・福祉との連携、及び諸制度について理解する。地域リハビリテーションシステムの中で、理学療法士が果たすべき役割と実際を捉え、今後の課題と可能性を探る。

【講義計画】

- 1 地域理学療法の概念
- 2 地域理学療法に関連制度
- 3 地域における社会資源
- 4 介護保険における理学療法/施設・通所・訪問サービス
- 5 介護保険における理学療法/住環境の整備
- 6 介護保険における理学療法/福祉用具の導入
- 7 在宅理学療法に関わる知識
- 8 在宅理学療法に関わるリスク管理
- 9 在宅理学療法に関わる評価
- 10 症例検討
- 11 症例検討
- 12 症例検討
- 13 症例検討
- 14 症例検討
- 15 レポート・発表

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
181	基礎理学療法学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、デイリーノート、チェックリスト、自己学習課題、実習報告会		

【講義目的】

理学療法士の対象者への対応等をチームの一員として見学する。その中で、「見学」の仕方を学び、理学療法の機能・役割を理解し専門家としての態度や対応方法を育む。また、上級学年で学ぶ専門知識や技術を効果的かつ有意義に習得できるようにする。

【本実習での到達目標】

- 1 「見学」の仕方を学ぶ
- 2 理学療法の機能・役割を理解し専門家としての態度や対応方法を育む

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
182	理学療法評価学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、デイリーノート、チェックリスト、自己学習課題、実習報告会		

【講義目的】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法における検査・測定の経験を積む。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・測定を実施する状況を見学し留意点・判定等について説明を受け理解する
- 2 指導者が検査・測定を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら測定を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が検査・測定を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
183	理学療法総合臨床実習Ⅰ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、デイリーノート、チェックリスト、自己学習課題、実習報告会、臨床能力試験		

【講義目的】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法評価から障害像の把握、理学療法までを総合的に経験する。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・治療を実施する状況を見学し評価の留意点・判定、治療の目的、技術面のポイント、対象者の反応について説明を受け理解する
- 2 指導者が対象者の評価・治療を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら評価・治療を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が評価・治療を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
184	理学療法総合臨床実習Ⅱ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、デイリーノート、チェックリスト、自己学習課題、実習報告会、臨床能力試験		

【講義目的】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法評価から障害像の把握、理学療法までを総合的に経験する。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・治療を実施する状況を見学し評価の留意点・判定、治療の目的、技術面のポイント、対象者の反応について説明を受け理解する
- 2 指導者が対象者の評価・治療を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら評価・治療を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が評価・治療を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
185	地域理学療法学臨床実習	3年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、デイリーノート、チェックリスト、自己学習課題、実習報告会		

【講義目的】

通所リハビリテーションの実習を通し、地域リハビリテーションに関する制度を学び、理学療法士が担う役割を理解する。

【本実習での到達目標】

- 1 地域リハビリテーションの考え方・制度を知る
- 2 通所リハビリテーションの機能を知る
- 3 通所リハビリテーションにおける理学療法士の役割・業務を経験する

作業療法学科

基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
301	情報科学	1年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題45%、発表45%		

【講義目的】

情報についてのマナーを知り、情報を活用するために必要な情報収集と判断・処理する力、情報をまとめる力（Word・Power Point・Excelを用いた作成）、情報を発信する力を身に着ける。加えてAIの活用についての紹介やレポート作成方法についても学ぶ。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション
- 2 情報リテラシー①
- 3 情報リテラシー②
- 4 レポート作成について
- 5 情報収集の方法①
- 6 情報収集の方法②
- 7 情報収集のまとめかたについて
- 8 レポート作成①
- 9 レポート作成②
- 10 プレゼンテーションについて
- 11 プレゼンテーション資料の作成①
- 12 プレゼンテーション資料の作成②
- 13 発表
- 14 発表
- 15 表計算・グラフについて

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
302	心理学	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

将来、対人援助職につく上で必要となる心理学的知見と臨床心理学的技法を学ぶ。

【講義計画】

- 1 精神分析 1
- 2 精神分析 2
- 3 クライアント中心療法
- 4 フォーカシング
- 5 認知行動療法
- 6 マイクロカウンセリング
- 7 心理検査
- 8 学習
- 9 記憶
- 10 思考
- 11 パーソナリティ
- 12 ストレス
- 13 発達
- 14 コミュニケーション
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
303	コミュニケーション学	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

社会人・医療人として「人と生きる」ために必要不可欠なコミュニケーションスキルについて学ぶ。チーム医療を実践するための視野の拡大と洞察力、傾聴・共感する能力、相手の立場で物事を推察する能力、継続しやり遂げる能力等を身につける。

【講義計画】

- 1 「他己紹介」
- 2 「コミュニケーションとは？」
- 3 「必要とされる」人材
- 4 医療に欠かせない「接遇」
- 5 「マナーの重要性」
- 6 コミュニケーション①
- 7 コミュニケーション②
- 8 コミュニケーション③
- 9 コミュニケーション④
- 10 コミュニケーション⑤
- 11 コミュニケーション⑥
- 12 コミュニケーション⑦
- 13 コミュニケーション⑧
- 14 自我状態を知る
- 15 総括

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
304	ライフスポーツ演習	1年 前期	外部有識者・作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

障がいのある方たちがレクリエーションとして楽しみ、時には、アスリートとして競い合う様々な「スポーツ」があることを知り、作業療法士としての支援を学ぶ。

【講義計画】

- 1 障がい者のスポーツとは・様々なスポーツの紹介・車いすについて知る
- 2 障がい者のスポーツ支援：歴史
- 3 障がい者のスポーツ支援：障がい者スポーツの意義
- 4 障がい者のスポーツ支援：車いす体験 屋内編
- 5 障がい者のスポーツ支援：車いす体験 屋外編
- 6 障がい者のスポーツ支援：精神障害①
- 7 障がい者のスポーツ支援：精神障害②
- 8 障がい者のスポーツ支援：知的障害
- 9 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり①
- 10 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり②
- 11 障がい者のスポーツ支援：PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり③
- 12 障がい者スポーツ体験：風船バレーボール・ボッチャ
- 13 障がい者スポーツ体験：車いすバスケットボール他
- 14 障がい者スポーツ体験（車いすバスケットボール他） 外部
- 15 障がい者スポーツ体験（車いすバスケットボール他） 外部

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
305	生物学	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

細胞から個体へとつながりをもって学び、ヒトの体の構造・働きと病態との関わりを理解する

【講義計画】

- 1 細胞の基本的な構造と機能
- 2 血液の分類と免疫
- 3 免疫異常
- 4 循環器の仕組み①
- 5 循環器の仕組み②
- 6 呼吸器の仕組み
- 7 腎臓の仕組み①
- 8 腎臓の仕組み②
- 9 消化器の仕組み
- 10 ミトコンドリアとエネルギー代謝
- 11 核と遺伝
- 12 染色体と染色体異常
- 13 細胞膜と活動電位
- 14 シナプス伝達
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
306	物理学	1年 後期	外部有識者・作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

私たちの身の回りに存在する「なぜ？」に対して、物理学的に理解し、その学習を通して作業療法士として必要な「基礎知識」と「考える力と伝える力」の習得を目的とする。

【講義計画】

- 1 なぜ物理を学ぶのか？
- 2 ニュートンの法則1
- 3 ニュートンの法則2
- 4 摩擦力・運動量と力積
- 5 仕事とエネルギー
- 6 熱と温度
- 7 熱と温度 応用1
- 8 熱と温度 応用2
- 9 力のモーメント
- 10 関節運動のモーメント、そのつり合い
- 11 てこの原理
- 12 身体のでこ、重心の安定性
- 13 重心移動と作業療法1
- 14 重心移動と作業療法2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
307	英語	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	attitude10%、Mid-term examination45%、Termly examination45%		

【講義目的】

This course will provide students with preparatory skills for everyday medical and social communication in English. It will be achieved through self-expression by the students in a classroom atmosphere.

【講義計画】

- 1 Introduction of self in a social and formal situation
- 2 Introduction in medico-social situation
- 3 Written registration format and signature practice
- 4 Departure procedure from friends and acquaintances, How to address an envelope for foreign Correspondence
- 5 Terms for internal organs/lay terms for body parts
- 6 Introduction to phonics
- 7 Review
- 8 Lay terms for bones of the skeleton
- 9 Medical terms for bones of skeleton
- 10 Medical and lay terms for skeleton(continued)
- 11 Lay terms and medical terms for joint motion
- 12 Pair practice to conduct a basic medical interview
- 13 Orientation for foreign travel to a medical institute
- 14 Conversation at a medical institute
- 15 Review

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
308	基礎セミナー I	1年 前期	作業療法士・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

職場や地域社会で働くために必要な「社会人基礎力」について理解し、学生生活および地域活動において実践できる基礎的態度・行動を身につける。また、認知・情意・精神運動領域の特性を理解し、自らの学習行動に活かすことができる。

【講義計画】

- 1 社会人基礎力①（導入）
- 2 社会人基礎力②（ストレスコントロール）
- 3 社会人基礎力③（規律性）
- 4 社会人基礎力④（発信力）
- 5 情意・認知・精神運動領域（各領域の特徴）
- 6 情意領域（振る舞い・態度）
- 7 認知領域（学習行動への応用）
- 8 精神運動領域（技術について）
- 9 地域活動におけるコミュニケーション実践①
- 10 地域活動におけるコミュニケーション実践②
- 11 地域活動におけるコミュニケーション実践③
- 12 リハビリテーション関連職種の多様な職域①
- 13 リハビリテーション関連職種の多様な職域②
- 14 リハビリテーション関連職種の多様な職域③
- 15 リハビリテーション関連職種の多様な職域④

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
309	基礎セミナーⅡ	1年 後期	作業療法士・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

医療人として求められる認知・情意領域を理解し、情報収集・要約・説明に関する基礎的能力を養う。また、地域活動実践を通して医療専門職としての態度を形成するとともに、理学療法士および作業療法士の役割を理解する。

【講義計画】

- 1 医療人に必要な認知領域
- 2 医療人に必要なスキル①
- 3 医療人に求められる基本スキル②
- 4 医療人に求められる基本スキル③
- 5 情報活用①（健康に関する情報収集）
- 6 情報活用②（健康情報の要約）
- 7 情報活用③（健康情報のプレゼンテーション）
- 8 情報活用④（医療・福祉制度に関する情報収集）
- 9 情報活用⑤（医療・福祉制度情報の要約）
- 10 情報活用⑥（医療・福祉制度情報のプレゼンテーション）
- 11 地域活動実践①
- 12 地域活動実践②
- 13 作業療法士と理学療法士の役割①
- 14 作業療法士と理学療法士の役割②
- 15 作業療法士と理学療法士の役割③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
310	キャリアデザイン学Ⅰ	2年 前期	作業療法士・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題85%		

【講義目的】

社会人として身に付けるべき所作・マナーや行動の際に求められることを理解し、実践できるようになる。そして「自己分析」を通して行動の目標を定め、自分の「キャリアデザイン」につなげる。

【講義計画】

- 1 キャリアデザインとは
- 2 「社会人基礎力」振り返り
- 3 身につけておくべき3つの領域
- 4 キャリアアップとは
- 5 PT・OTのキャリアアップ
- 6 自己分析・他己分析①
- 7 自己分析・他己分析②
- 8 自己PR
- 9 社会人としての所作・身だしなみ
- 10 自己PR・集団面接のポイント
- 11 就労に関する法律
- 12 医療介護福祉領域の課題と今後について
- 13 小論文①
- 14 小論文②
- 15 小論文③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
311	キャリアデザイン学Ⅱ	2年 後期	作業療法士・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度15%、レポート課題70%、実技テスト15%		

【講義目的】

自分の「作業療法士」としてのキャリアデザインを行い、実現するために具体的に行動し準備を進める。

【講義計画】

- 1 就職ガイダンス
- 2 就職ガイダンス
- 3 就職ガイダンス
- 4 就職ガイダンス
- 5 就職活動 施設との連絡調整から
- 6 履歴書を書く：自己PR
- 7 履歴書を書く：企業研究
- 8 履歴書を書く：志望動機
- 9 面接に備える
- 10 模擬面接と作文①
- 11 模擬面接と作文②
- 12 企業が求める人材とは①
- 13 企業が求める人材とは②
- 14 企業が求める人材とは③
- 15 先輩に聞く

專門基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
321	解剖学Ⅰ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、作業療法士が治療対象とする運動に関与する骨学・関節学・筋学について学ぶ。

【講義計画】

- 1 解剖学・総論
- 2 骨学・総論
- 3 骨学・上肢1
- 4 骨学・上肢2
- 5 骨学・上肢3
- 6 骨学・下肢1
- 7 骨学・下肢2
- 8 骨学・下肢3
- 9 骨学・体幹
- 10 骨学・頭蓋
- 11 関節
- 12 靭帯
- 13 筋・総論
- 14 筋・頭頸部
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
322	解剖学Ⅱ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、定期試験80%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では運動を行い身体を維持するための器官である循環器・脈管・呼吸器・消化器について学ぶ。

【講義計画】

- 1 循環器・脈管1
- 2 循環器・脈管2
- 3 循環器・脈管3
- 4 循環器・脈管4
- 5 循環器・脈管5
- 6 循環器・脈管6
- 7 呼吸器1
- 8 呼吸器2
- 9 呼吸器3
- 10 呼吸器4
- 11 消化器1
- 12 消化器2
- 13 消化器3
- 14 消化器4
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
323	解剖学演習	1年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト30%、定期試験60%		

【講義目的】

骨学・循環器・脈管・消化器について学んだことを確認し、理解を深める。体表から骨指標が触知できるようになり、評価につなげる力を身につける。

【講義計画】

- 1 肩甲帯・上肢の骨 (肩甲骨)
- 2 肩甲帯・上肢の骨 (上腕骨・前腕骨)
- 3 肩甲帯・上肢の骨 (前腕骨・手の骨)
- 4 肩甲帯・上肢の骨まとめ (口頭試問)
- 5 骨盤帯・下肢の骨 (骨盤)
- 6 骨盤帯・下肢の骨 (大腿骨・下肢骨)
- 7 骨盤帯・下肢の骨 (足部の骨)
- 8 骨盤帯・下肢の骨まとめ (口頭試問)
- 9 体幹の骨 (脊柱)
- 10 体幹の骨 (胸郭)
- 11 循環器系の解剖
- 12 脈管系の解剖
- 13 呼吸器系の解剖
- 14 消化器系の解剖
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
324	解剖学実習	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、作業療法士が治療対象とする運動に関与する筋学、運動や身体全体の機能を調整する神経学を学ぶ。

【講義計画】

- 1 筋学・上肢
- 2 筋学・骨盤帯
- 3 筋学・下肢
- 4 筋学・胸部
- 5 筋学・腹部
- 6 筋学・背部
- 7 神経学総論
- 8 中枢神経 (脊髄・脳幹・小脳)
- 9 中枢神経 (大脳・伝導路1)
- 10 中枢神経 (大脳・伝導路2)
- 11 末梢神経 (脳神経)
- 12 末梢神経 (脊髄神経・自律神経)
- 13 実習1 (外部研修)
- 14 実習2 (外部研修)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
325	機能解剖演習	2年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

各部位での骨格筋を確認し、四肢・体幹の運動を三次元的視点で理解する。運動機能評価の基本となる骨格筋の作用を理解する。

【講義計画】

- 1 上肢帯の筋と運動
- 2 肩の筋と運動
- 3 肘・手の筋と運動
- 4 手指の筋と運動
- 5 上肢・手指の操作
- 6 下肢（骨盤帯と筋）
- 7 下肢（大腿の前面・後面の筋）
- 8 下肢（大腿内側の筋）
- 9 下肢（下腿の筋）
- 10 下肢まとめ
- 11 体幹（頸部胸部の筋）
- 12 体幹（腹部背部の筋）
- 13 機能解剖の応用 1
- 14 機能解剖の応用 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
326	生理学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

身体を構成する組織と器官の構造と機能について、循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系について学ぶ。ヒトの生体機能の仕組みについて理解を深める。

【講義計画】

- 1 生命現象と人体、細胞の構造と機能
- 2 血液①
- 3 血液②
- 4 心臓と循環①
- 5 心臓と循環②
- 6 心臓と循環③
- 7 呼吸とガスの運搬①
- 8 呼吸とガスの運搬②
- 9 尿の生成と排泄①
- 10 尿の生成と排泄②
- 11 消化と吸収①
- 12 消化と吸収②
- 13 内分泌
- 14 代謝と体温
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
327	生理学Ⅱ	1年 後期	作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、定期試験80%		

【講義目的】

生理学は生体機能のしくみを対象としており、本講義では、神経系、運動系、感覚系について概説し、病態や障害、作業療法に必要な評価・治療を理解する一助として、理解を深める。

【講義計画】

- 1 神経系の構造
- 2 興奮の伝導
- 3 ナトリウム-カリウムポンプ
- 4 シナプス伝達
- 5 筋の構造
- 6 神経の興奮伝導と末梢神経
- 7 中枢神経系 1
- 8 中枢神経系 2
- 9 中枢神経系 3
- 10 筋と骨
- 11 体性感覚
- 12 特殊感覚
- 13 生殖と発生・成長と老化
- 14 運動生理
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
328	生理学実習	2年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト10%、レポート10%、定期試験70%		

【講義目的】

主に神経生理学と呼吸・循環生理学の基礎的現象についての理解を深め、作業療法士が行う治療手段の理論的背景を学ぶ。また実験・解析装置の仕組みを理解し活用する。

【講義計画】

- 1 呼気ガス分析①
- 2 呼気ガス分析②
- 3 呼吸①
- 4 呼吸②
- 5 心電図①
- 6 心電図②
- 7 血圧①
- 8 血圧②
- 9 筋電図①
- 10 筋電図②
- 11 血糖値①
- 12 血糖値②
- 13 浮腫
- 14 感覚
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
329	運動学Ⅰ	1年 後期	理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

身体における関節構造を理解し、運動を骨・関節および筋活動の立場から捉え理解する。また筋や関節の動きから人の動きを分析し、今後の作業療法での評価・治療への知識に繋げる

【講義計画】

- 1 上肢の運動学総論
- 2 上肢の運動学①
- 3 上肢の運動学②
- 4 上肢の運動学③
- 5 上肢の運動学④
- 6 下肢の運動学総論
- 7 下肢の運動学①
- 8 下肢の運動学②
- 9 下肢の運動学③
- 10 下肢の運動学④
- 11 姿勢・アライメント・重心について
- 12 重心線、支持基底面について
- 13 バランス機能について
- 14 運動学的動作分析について
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
330	運動学Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト15%、定期試験80%		

【講義目的】

身体における各関節運動をもとに歩行や姿勢への影響について学ぶ。

【講義計画】

- 1 体幹の運動学①
- 2 体幹の運動学②
- 3 体幹の運動学③
- 4 体幹の運動学④
- 5 頭部・顔面の運動学①
- 6 頭部・顔面の運動学②
- 7 姿勢①
- 8 姿勢②
- 9 歩行①
- 10 歩行②
- 11 歩行③
- 12 歩行④
- 13 走行
- 14 運動学習
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
331	発達障害学	1年 後期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

人間の様々な機能の発達について理解を深め、小児疾患に対する作業療法の基礎を学ぶ

【講義計画】

- 1 オリエンテーション・なぜ発達学を学ぶのか・脳の成熟とヒトの発達
- 2 発達検査：総論、運動機能を確認する際のポイント
- 3 定型発達：新生児～2ヶ月
- 4 定型発達：3～6ヶ月
- 5 定型発達：8～12ヶ月
- 6 定型発達：歩行の発達、6歳までの粗大運動
- 7 微細運動の発達
- 8 発達検査：社会性や言語の発達
- 9 原始反射・姿勢反射：総論
- 10 原始反射①
- 11 原始反射②
- 12 原始反射③
- 13 姿勢反射①
- 14 姿勢反射②
- 15 姿勢反射③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
332	身体機能学 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

身体を構成する組織・器官を筋・骨格系（運動器）、神経系、内蔵諸器官系に大別し、これらの構造と機能について学ぶ。

【講義計画】

- 1 細胞の構造と機能
- 2 血液の組成と機能
- 3 循環器（心臓・血管など）の構造と機能
- 4 呼吸器（気管支、肺など）の構造と機能
- 5 消化器（胃・腸・肝臓など）の構造と機能
- 6 泌尿器（腎臓など）の構造と機能
- 7 内臓器官（内分泌器・生殖器など）の構造と機能
- 8 骨の構造（上肢1）
- 9 骨の構造（上肢2）
- 10 骨の構造（下肢1）
- 11 骨の構造（下肢2）
- 12 骨の構造（体幹）
- 13 関節の構造と機能
- 14 靭帯の構造と機能
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
333	身体機能学Ⅱ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

対象理解のために必要な病因・病態や生体反応について学ぶ。

【講義計画】

- 1 末梢神経の構造と機能
- 2 中枢神経の構造と機能 1
- 3 中枢神経の構造と機能 2
- 4 筋の構造と機能
- 5 感覚器の構造と機能
- 6 成長と老化
- 7 運動生理
- 8 筋の構造（肩甲骨）
- 9 筋の構造（肩関節の運動）
- 10 筋の構造（肘関節と手指の運動）
- 11 筋の構造（股関節の運動）
- 12 筋の構造（膝関節の運動）
- 13 筋の構造（足関節の運動）
- 14 筋の構造（頭頸部・体幹の運動）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
334	病理学	2年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度5%、小テスト5%、定期試験90%		

【講義目的】

作業療法に必要な疾患の原因、病変、経過、転帰などの本質を理解するための知識を学ぶ。

【講義計画】

- 1 退行性病変と代謝異常 1
- 2 退行性病変と代謝異常 2
- 3 循環障害
- 4 進行性病変
- 5 感染症
- 6 老化
- 7 炎症 1
- 8 炎症 2
- 9 免疫 1
- 10 免疫 2
- 11 腫瘍 1
- 12 腫瘍 2
- 13 先天異常 1
- 14 先天異常 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
335	精神障害学	2年 後期	医師・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

こころの病気についての特徴について学び、作業療法の評価・治療のための知識・理解を深める。

【講義計画】

- 1 精神疾患総論、精神医学的検査・診断法
- 2 心理検査
- 3 心理療法
- 4 統合失調症
- 5 統合失調症
- 6 精神保健Ⅰ
- 7 精神保健Ⅱ
- 8 対人支援
- 9 神経症性障害・ストレス関連障害
- 10 老年期精神障害
- 11 小児期精神障害・精神遅滞
- 12 精神保健福祉と医療
- 13 地域移行支援
- 14 気分障害・てんかん
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
336	神経内科障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

神経疾患とは中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経および筋の疾患を総称する。これらの疾患は運動機能を障害するため、リハビリテーションが必要となる。この講義では、脳機能の局在、意識とその障害について理解し、検査・治療（薬物治療を含む）について学ぶ。

【講義計画】

- 1 脳の病態
- 2 補助診断法
- 3 脳腫瘍
- 4 頭部外傷
- 5 脳血管障害
- 6 水頭症
- 7 先天奇形
- 8 認知症・高次脳機能障害
- 9 変性疾患：パーキンソン病
- 10 変性疾患：脊髄小脳変性症
- 11 脱髄疾患
- 12 末梢神経障害・感染疾患
- 13 筋疾患：筋ジストロフィー
- 14 脊椎・脊髄疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
337	骨関節障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度15%、小テスト15%、定期試験70%		

【講義目的】

リハビリテーションを行う上で重要な整形外科分野の疾患に関し、最近のトピックスや診察（画像診断を含む）・治療（手術、薬物治療など）の現状を交えながら学習する。

【講義計画】

- 1 骨粗鬆症
- 2 骨折、外傷①
- 3 骨折、外傷②
- 4 末梢神経損傷（上・下肢）
- 5 変形性膝関節症（TKA含む）
- 6 変形性股関節症（THA含む）、大腿骨頸部骨折
- 7 骨系統疾患
- 8 腰椎椎間板ヘルニア
- 9 脊柱管狭窄症、すべり症
- 10 頰椎症、OPLL
- 11 脊椎損傷、脊髄損傷
- 12 骨腫瘍、緩和ケア
- 13 リウマチ
- 14 主要疾患以外の整形外科疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
338	医学・医療概説	1年 後期	医師・理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

医療人として求められる基本的な倫理観、医療制度、および医療安全・感染対策を含む医療の基礎的理解を身につけることを目的とする。あわせて、心臓・呼吸などの基礎的生理機能、画像診断、薬物療法、予防医学などの知識をリハビリテーションとの関連の中で理解する。

【講義計画】

- 1 医学・医療倫理
- 2 医療システム
- 3 医療安全管理と感染予防
- 4 画像診断
- 5 リハビリテーションと薬物治療
- 6 予防医学
- 7 生命の基礎構成・栄養①
- 8 生命の基礎構成・栄養②
- 9 心臓生理学の基礎
- 10 呼吸生理学の基礎
- 11 神経生理学の基礎
- 12 救急対応の基礎①
- 13 救急対応の基礎②
- 14 救急対応の基礎③
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
339	外科系障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

作業療法の対象となる代表的な外科的治療対象となる疾患の病態を知り、どのような医学的検査（画像診断を含む）・治療（薬物療法を含む）が行われているかを学ぶ。そして、各疾患に必要なリハビリテーション医療についての理解を深める。

【講義計画】

- 1 心臓外科① 成人心臓手術
- 2 心臓外科② 手術、動脈疾患
- 3 心臓外科③ 先天性心疾患
- 4 心臓外科④ 後天性心疾患
- 5 心臓外科⑤ 静脈疾患
- 6 心臓外科⑥ 解剖、病態
- 7 心臓外科⑦ 心臓リハビリテーション
- 8 脳外科①
- 9 脳外科②
- 10 脳外科③
- 11 小児整形外科①
- 12 小児整形外科②
- 13 小児整形外科③
- 14 小児整形外科④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
340	内科系障害学	2年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

成人・小児の内科的疾患の病態生理や症状、検査（画像診断を含む）・治療（薬物治療を含む）を学び、各疾患に対し作業療法を行えるよう、そして、内科的疾患を合併する対象者への安全で効果的な対応につなげる。

【講義計画】

- 1 内科総論
- 2 内科：代謝・内分泌疾患
- 3 内科：消化器疾患
- 4 内科：腎臓疾患
- 5 内科：呼吸器疾患①
- 6 内科：呼吸器疾患②
- 7 内科：循環器疾患①
- 8 内科：循環器疾患②
- 9 小児科総論
- 10 小児科：先天性異常・遺伝と病気
- 11 小児科：てんかん・発達障害
- 12 小児科：循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
- 13 小児科：消化器疾患・内分泌・代謝疾患
- 14 小児科：悪性腫瘍・重症心身障がい
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
341	身体機能障害学Ⅰ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題15%、定期試験80%		

【講義目的】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義計画】

- 1 評価1
- 2 評価2
- 3 中枢神経障害1
- 4 中枢神経障害2
- 5 末梢神経障害
- 6 骨関節障害1
- 7 骨関節障害2
- 8 解剖学総論1
- 9 解剖学総論2
- 10 生理学総論1
- 11 生理学総論2
- 12 運動学総論1
- 13 運動学総論2
- 14 老年期障害
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
342	身体機能障害学Ⅱ	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題15%、定期試験80%		

【講義目的】

臨床において効果的な治療を実践する上で必要となる、機能障害の病態やそのメカニズムを理解する。

【講義計画】

- 1 整形外科疾患の作業療法1 (RA 熱傷 末梢神経障害 (スプリント・自助具含む))
- 2 整形外科疾患の作業療法2 (骨粗鬆症 骨折 筋・腱損傷 (スプリント含む))
- 3 精神疾患の作業療法1 (統合失調症1)
- 4 精神疾患の作業療法2 (統合失調症2)
- 5 精神疾患の作業療法3 (気分障害1)
- 6 精神疾患の作業療法4 (気分障害2)
- 7 精神疾患の作業療法5 (アルコール依存症)
- 8 病理：炎症 免疫 アレルギー 感染
- 9 病理：腫瘍 廃用・加齢
- 10 整形外科：骨折 RA その他の整形疾患 (脊髄・脊椎疾患は除く)
- 11 内科：循環器疾患
- 12 内科：呼吸器疾患 消化器疾患
- 13 内科：代謝性疾患 腎・泌尿器疾患 内分泌疾患
- 14 神経内科：変性疾患 (認知症を除く) ・脱髄性疾患・筋疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
343	リハビリテーション概論	1年 前期	作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題95%		

【講義目的】

1. リハビリテーションの定義・意義を知り、社会におけるリハビリテーション専門職の役割を理解する。
2. 各分野のリハビリテーションを知ること、より具体的に作業・理学療法士の役割を学ぶ。

【講義計画】

- 1 リハビリテーションの範囲、リハビリテーションマインド
- 2 障害とは（ICF）・障害受容について
- 3 多職種連携（チーム医療）について
- 4 医学的リハビリテーション
- 5 リハビリテーション関連の医学的基礎知識
- 6 理学療法について
- 7 作業療法について
- 8 職業的リハビリテーション
- 9 生活期（地域）のリハビリテーション
- 10 摂食嚥下（栄養）のリハビリテーション
- 11 義肢装具分野のリハビリテーション
- 12 福祉用具分野のリハビリテーション
- 13 シーティング（車椅子）のリハビリテーション
- 14 住環境のリハビリテーション
- 15 災害時のリハビリテーション

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
344	リハビリテーション医学	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

リハビリテーション医療の全体を把握するとともに、各専門職の役割とチームアプローチの重要性を学ぶ。さらに、リハビリテーション医療が治療対象とする様々な障害の病態を理解し、その評価と治療についての知識を深める。

【講義計画】

- 1 リハビリテーション医学・医療の流れ
- 2 リハビリテーション診療① ADL評価
- 3 リハビリテーション診療② 画像診断学
- 4 リハビリテーション診療③ 電気診断学
- 5 リハビリテーション診療④ 治療
- 6 障害の評価と治療① 廃用症候群
- 7 障害の評価と治療② 運動障害と歩行障害
- 8 障害の評価と治療③ 循環機能障害と呼吸の障害
- 9 障害の評価と治療④ 摂食・嚥下障害とリハ栄養・褥瘡
- 10 障害の評価と治療⑤ 排尿障害と腎障害
- 11 障害の評価と治療⑥ 痙縮・固縮
- 12 障害の評価と治療⑦ 高次脳機能障害
- 13 障害の評価と治療⑧ 加齢による障害と発達障害
- 14 障害の評価と治療⑨ 障害受容
- 15 まとめ

専門分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
351	作業療法概論	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、定期試験95%		

【講義目的】

作業療法の概要について学習し、保健・医療・福祉の中での作業療法の役割について理解を深める。治療概念（ICF・MTDLP）について知り、それぞれの作業療法支援を知る。

【講義計画】

- 1 リハビリテーションと作業療法について
- 2 作業療法の意味・定義・歴史
- 3 作業療法の流れ1（面接）
- 4 作業療法の流れ2（観察、評価、問題点の焦点化）
- 5 作業療法の流れ3（目標）、病気について
- 6 作業療法の流れ4（ICF・治療）
- 7 作業とからだ
- 8 作業とこころ・意欲
- 9 作業療法と身体障害分野（急性期）
- 10 作業療法と身体障害分野（回復期）
- 11 作業療法と生活期
- 12 作業療法と精神科分野
- 13 作業療法と就労支援
- 14 作業療法と高齢者分野
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
352	基礎作業学	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度20%、定期試験80%		

【講義目的】

作業療法を実施していく中で、作業活動がどのように用いられているのかを知る。作業療法の分析手法や主な治療モデル・作業療法理論について学ぶ。

【講義計画】

- 1 ICFの分類
- 2 作業療法介入プロセスモデル（AMPS等）
- 3 作業科学1
- 4 作業科学2
- 5 作業について
- 6 作業療法の紹介
- 7 人間作業モデル（OSAとMOHOST等）
- 8 カナダ作業モデル
- 9 クライアント中心の実践
- 10 行動変容
- 11 作業療法の理論1
- 12 作業療法の理論2
- 13 理論に基づく評価
- 14 理論に基づく演習
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
353	基礎作業学実習	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度30%、レポート課題70%		

【講義目的】

1. 規則の順守、責任を持った行動や節度のある態度をとるなどの社会性を身につける
2. 施設等での対象者との関わりを通してコミュニケーション能力や専門的知識を深める。

【講義計画】

- 1 作業療法理論の演習①
- 2 作業療法理論の演習②
- 3 作業療法理論の演習③
- 4 作業療法理論の演習④
- 5 作業療法理論の演習⑤
- 6 作業療法理論の実践①
- 7 作業療法理論の実践②
- 8 外部実習①：テクニカルエイドと車椅子
- 9 外部実習②：入浴・排泄動作、移乗動作
- 10 外部実習③：コミュニケーションと自動車運転
- 11 外部実習④コミュニケーションと実技
- 12 外部実習⑤コミュニケーションと実技
- 13 MTDLP演習①
- 14 MTDLP演習②
- 15 MTDLP演習③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
354	作業療法管理学	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、定期試験95%		

【講義目的】

作業療法を実施する上で職場倫理および職場管理の視点について知る。

1. 医療の安全管理、組織管理、作業療法に必要な倫理について学ぶ。
2. 医療・福祉に関する制度を理解し、各分野でのマネジメントについて学ぶ。

【講義計画】

- 1 作業療法士としての倫理（人権、法律、ハラスメント、インフォームドコンセントについて）
- 2 法律、職能団体、マネジメントについて
- 3 医療安全のマネジメント1（危険察知トレーニング・リスクおよびクライシスマネジメント）
- 4 医療安全のマネジメント2（事故報告書作成、事例検討）
- 5 医療安全のマネジメント3（標準予防策、感染対策、関連問題）
- 6 物・情報のマネジメント（備品管理、5Sについて）
- 7 情報のマネジメント1（診療情報の開示、データの扱い方）
- 8 情報のマネジメント2（診療録の記載、保存など）
- 9 医療組織について（病院機構、病院組織、OT業務について）
- 10 作業療法を取り巻く制度（社会保障制度、介護保険、障害者総合支援法など）
- 11 経済性のマネジメント（診療報酬など）
- 12 医療とサービス
- 13 ストレスマネジメント・タイムマネジメント
- 14 災害時の作業療法士の役割
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
355	作業療法評価学実習Ⅰ	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、実技テスト80%		

【講義目的】

臨床場面でよく用いられる評価の知識・技術を習得する。

【講義計画】

- 1 作業療法評価学総論
- 2 コミュニケーション技法
- 3 療法士面接（見学・模倣）
- 4 実技テスト①（療法士面接）
- 5 脈拍と血圧測定（見学・模倣）
- 6 実技テスト②（脈拍と血圧測定）
- 7 形態測定（見学・模倣）
- 8 実技テスト③（形態測定）
- 9 ROM頭頸部・肩関節（見学・模倣）
- 10 ROM肘関節・前腕（見学・模倣）
- 11 ROM手関節・手指（見学・模倣）
- 12 実技テスト④（ROM頭頸部・上肢・手指）
- 13 ROM股・膝・足関節（見学・模倣）
- 14 ROM足関節・体幹（見学・模倣）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
356	作業療法評価学実習Ⅱ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、実技テスト80%		

【講義目的】

臨床場面でよく用いられる評価の知識・技術を習得する。

【講義計画】

- 1 ROM（上下肢・復習）
- 2 ROM（体幹・頸・復習）
- 3 立位バランス（見学・模倣）
- 4 実技テスト①（ROM下肢・体幹、立位バランス）
- 5 反射検査（見学・模倣）
- 6 運動失調検査（見学・模倣）
- 7 感覚検査（見学・模倣）
- 8 実技テスト②（反射、運動失調、感覚検査）
- 9 MMT（肩・肘）
- 10 MMT（手・手指）
- 11 MMT（股・膝・足・体幹）
- 12 MMT（上肢まとめ）
- 13 MMT（下肢・体幹まとめ）
- 14 実技テスト③（MMT）
- 15 認知症に関する検査（HDS-R・MMSE）

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
357	作業療法評価学実習Ⅲ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題10%、小テスト30%、実技テスト50%		

【講義目的】

臨床場面でよく用いられる評価の知識・技術を習得する。また模擬症例を通して必要な評価項目の抽出ができるようにする。

【講義計画】

- 1 MMT（手指・復習）
- 2 脳血管障害に関する検査（BRS・SIAS）
- 3 脳血管障害に関する検査（FMA）
- 4 実技テスト①（脳血管障害に関する検査）
- 5 基本動作の動作観察 1
- 6 基本動作の動作観察 2
- 7 疾患別評価（脳血管障害 1）
- 8 疾患別評価（脳血管障害 2）
- 9 疾患別評価（整形疾患 1）
- 10 疾患別評価（整形疾患 2）
- 11 疾患別評価（変性疾患 1）
- 12 疾患別評価（変性疾患 2）
- 13 疾患別評価（循環器・呼吸器疾患 1）
- 14 疾患別評価（循環器・呼吸器疾患 2）
- 15 実技テスト

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
358	日常生活動作学 I	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、発表10%、定期試験80%		

【講義目的】

ADLとIADLの概念を学ぶ。また、各ADL動作の工程と分析方法について学ぶ。福祉用具について学ぶ。

【講義計画】

- 1 ADLとIADL、OTの役割
- 2 食事動作の工程分析
- 3 整容、更衣動作の工程分析
- 4 排泄動作の工程分析
- 5 入浴動作の工程分析
- 6 歩行動作の工程分析
- 7 福祉用具について（外部実習）
- 8 基本動作・移乗 1
- 9 基本動作・移乗 2
- 10 家事動作の問題点と援助の視点
- 11 グループ発表
- 12 ADLの評価 1
- 13 ADLの評価 2
- 14 QOLの評価
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
359	日常生活動作学Ⅱ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、レポート課題25%、実技テスト10%、定期試験60%		

【講義目的】

作業療法の生活支援やADL評価の過程について学ぶ。また、福祉用具や他職種との関わりについて知識を深める。

【講義計画】

- 1 ADLの動作分析
- 2 食事動作の問題点と援助の視点
- 3 整容、更衣動作の問題点と援助の視点
- 4 排泄動作の問題点と援助の視点
- 5 入浴動作の問題点と援助の視点
- 6 歩行動作の問題点と援助の視点
- 7 基本動作・移乗の実践1
- 8 基本動作・移乗の実践2
- 9 実技試験
- 10 自助具の紹介
- 11 脊髄損傷患者の生活設計1
- 12 脊髄損傷患者の生活設計2
- 13 住宅改修1（外部実習）
- 14 住宅改修2（外部実習）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
360	日常生活動作学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題40%、定期試験50%		

【講義目的】

模擬症例を通して、ADL場面の動作観察から治療プログラム立案、治療までの一連の過程を学ぶ。

【講義計画】

- 1 食事場面の評価と治療
- 2 更衣場面の評価と治療
- 3 起居移乗場面の評価と治療
- 4 脳卒中患者の動作観察1
- 5 脳卒中患者の動作観察2
- 6 脳卒中患者の治療プログラム立案
- 7 脳卒中患者の治療
- 8 OPLL患者のADL評価
- 9 OPLL患者の治療プログラム立案
- 10 OPLL患者の治療
- 11 大腿骨頸部骨折患者のADL
- 12 腰椎圧迫骨折患者のADL
- 13 腰部脊柱管狭窄症のADL
- 14 ADL評価の実践
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
361	身体障害作業療法学Ⅰ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

身体障害領域で関わる疾病や外傷の紹介と、急性期から生活期までの作業療法介入の考え方、手順、流れなどについてすすめていく。

【講義計画】

- 1 総論
- 2 骨関節障害の作業療法①
- 3 骨関節障害の作業療法②
- 4 骨関節障害の作業療法③
- 5 関節リウマチの作業療法①
- 6 関節リウマチの作業療法②
- 7 関節リウマチの作業療法③
- 8 末梢神経損傷の作業療法①
- 9 末梢神経損傷の作業療法②
- 10 脳血管障害の作業療法①
- 11 脳血管障害の作業療法②
- 12 脳血管障害の作業療法③
- 13 変性疾患の作業療法①
- 14 変性疾患の作業療法②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
362	身体障害作業療法学Ⅱ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、小テスト20%、定期試験70%		

【講義目的】

脳血管障害を中心に各疾病・外傷の障害についての理解と、作業療法アプローチについて理解する。

【講義計画】

- 1 脳血管障害の作業療法 総論
- 2 脳血管障害の作業療法 評価
- 3 脳血管障害の作業療法 治療①
- 4 脳血管障害の作業療法 治療②
- 5 脳血管障害の作業療法 事例検討
- 6 脊髄損傷の作業療法①
- 7 脊髄損傷の作業療法②
- 8 脊髄損傷の作業療法③
- 9 変性疾患の作業療法①
- 10 変性疾患の作業療法②
- 11 変性疾患の作業療法③
- 12 内部障害の作業療法①
- 13 内部障害の作業療法②
- 14 内部障害の作業療法③
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
363	身体障害作業療法学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	情意領域20% 精神運動領域40% 認知領域40% (臨床実習評価表に準ずる)		

【講義目的】

模擬症例を通して適切な評価の選択と実行、安全管理について学ぶ。また評価結果から問題点の抽出・目標設定・プログラムの立案の作業療法思考過程について理解する。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション 症例設定
- 2 情報収集・評価計画の立案
- 3 評価①
- 4 評価の記録・FB①
- 5 評価②
- 6 評価の記録・FB②
- 7 評価③
- 8 評価④
- 9 課題の整理ICF・問題点の列挙
- 10 ゴール設定とプログラムの立案
- 11 プログラムの実施①
- 12 プログラムの実施②
- 13 プログラムの実施③
- 14 症例のまとめ
- 15 症例のまとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
364	精神障害作業療法学	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

精神障害に対する作業療法の役割・治療構造を理解し、知識・技術を習得する。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション
- 2 薬物療法と作業療法
- 3 精神科における医師との連携
- 4 精神障害作業療法の総論①
- 5 精神障害作業療法の総論②
- 6 うつ・双極性障害
- 7 統合失調症①
- 8 統合失調症②
- 9 摂食障害と依存症、人格障害①
- 10 摂食障害と依存症、人格障害②
- 11 児童思春期の精神障害①
- 12 児童思春期の精神障害②
- 13 アルコール依存の理解とOTの展開
- 14 精神疾患の総論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
365	精神障害作業療法学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

実践的な講義から、精神障害に対する作業療法の役割・治療構造の知識・技術の理解を深め、評価・治療することができる。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション 評価学の基礎①
- 2 評価学の基礎② サンプルケースの検討
- 3 評価学の基礎③ 面接観察について
- 4 評価の手順① まとめ方
- 5 評価の手順② 精神機能評価
- 6 統合失調症の評価・病歴の診方
- 7 統合失調症の評価・他部門情報の理解
- 8 統合失調症の評価・ICF分類
- 9 統合失調症の評価・ICFの繋がり
- 10 気分障害の評価 病歴の診方
- 11 気分障害の評価 他部門情報の理解
- 12 気分障害の評価 ICF分類①
- 13 気分障害の評価 ICF分類②
- 14 気分障害の評価 ICFの繋がり
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
366	発達障害作業療法学	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

発達障害の歴史や必要な基礎知識および治療理論や具体的評価と評価技術を学ぶ

【講義計画】

- 1 オリエンテーション、発達領域での作業療法の役割
- 2 発達領域での作業療法評価
- 3 脳性麻痺① 概要
- 4 脳性麻痺② 特徴とアプローチ
- 5 脳性麻痺③ 評価
- 6 脳性麻痺④ 事例検討
- 7 自閉症スペクトラム障害① 概要
- 8 自閉症スペクトラム障害② 評価視点
- 9 自閉症スペクトラム障害③ 支援
- 10 自閉症スペクトラム障害④ まとめ
- 11 筋ジストロフィーの概要
- 12 筋ジストロフィーのポジショニングと姿勢
- 13 筋ジストロフィーの座位姿勢と手の動き
- 14 筋ジストロフィー 生活の実際
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
367	発達障害作業療法学演習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、定期試験90%		

【講義目的】

発達障害における各疾患別の作業療法の実際(評価、解釈、治療)を学ぶ

【講義計画】

- 1 発達障害に対する作業療法の視点と実践 (概要)
- 2 脳性麻痺の作業療法の実際 1
- 3 脳性麻痺の作業療法の実際 2
- 4 重症心身障害児の作業療法の実際 1
- 5 重症心身障害児の作業療法の実際 2
- 6 摂食嚥下障害の作業療法の実際 1
- 7 摂食嚥下障害の作業療法の実際 2
- 8 知的能力障害の作業療法の実際 1
- 9 知的能力障害の作業療法の実際 2
- 10 自閉スペクトラム症の作業療法の実際 1
- 11 自閉スペクトラム症の作業療法の実際 2
- 12 注意欠如多動性障害、発達性協調運動障害の作業療法の実際
- 13 筋ジストロフィーの作業療法の実際
- 14 発達障害のライフステージにおける地域での作業療法士の役割
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
368	作業療法研究方法論	3年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題90%		

【講義目的】

症例報告書作成を通して専門職として必要な科学的思考や論理性について学習する。

【講義計画】

- 1 研究とは・倫理と管理
- 2 研究紹介
- 3 文献活用について 1
- 4 文献活用について 2
- 5 文献活用について 3 (グループワーク)
- 6 症例報告書の作成 1 オリエンテーション
- 7 症例報告書の作成 2 はじめに～医学的情報
- 8 症例報告書の作成 3 評価～ICF
- 9 症例報告書の作成 4 課題の整理～プログラム立案
- 10 症例報告書の作成 5 治療経過①
- 11 症例報告書の作成 6 治療経過②
- 12 症例報告書の作成 7 考察①
- 13 症例報告書の作成 8 考察②
- 14 グループ検討
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
369	作業療法研究方法論演習	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題30%、事例報告60%		

【講義目的】

MTDLPの作成や事例発表を通して専門職として必要な科学的思考や倫理性について学習する。また、研究テーマやデータの取り方、データの解析について学ぶ。

【講義計画】

- 1 MTDLPシート作成 1
- 2 MTDLPシート作成 2
- 3 MTDLPシート作成 3
- 4 MTDLPシート作成 4
- 5 MTDLPシート作成 5
- 6 パワーポイント作成 1
- 7 パワーポイント作成 2
- 8 パワーポイント作成 3
- 9 パワーポイント作成 4
- 10 発表に向けて
- 11 事例報告会 1
- 12 事例報告会 2
- 13 事例報告会 3
- 14 事例報告会 4
- 15 その他研究紹介

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
370	作業療法治療学演習 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題40%、定期試験50%		

【講義目的】

1. 作業活動の特性を知り、作業活動を用いた治療・援助・指導方法を学ぶ。
2. 作業活動の特性を知り、作業工程を理解し、説明できるようにする。
3. 作業活動をどのように治療に用いるのか、理解する。

【講義計画】

- 1 作業活動について
- 2 ウォーキング
- 3 作業分析 1 (ぬり絵)
- 4 治療的応用 1 (ぬり絵)
- 5 作業分析 2 (革細工 1)
- 6 作業分析 2 (革細工 2)
- 7 治療的応用 2 (革細工)
- 8 作業分析 3 (ネット手芸 1)
- 9 作業分析 3 (ネット手芸 2)
- 10 治療的応用 3 (ネット手芸)
- 11 作業分析 4 (マクラメ)
- 12 治療的応用 4 (マクラメ)
- 13 治療への応用 1
- 14 治療への応用 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
371	作業療法治療学演習Ⅱ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、定期試験70%		

【講義目的】

1. 高次脳機能障害について学ぶ
2. 運動療法学全般を学び、作業療法治療へ活用できるよう学ぶ

【講義計画】

- 1 高次脳機能障害総論
- 2 高次脳機能障害1（注意・記憶・知能）
- 3 高次脳機能障害2（半側空間無視）
- 4 高次脳機能障害3（失語・失行）
- 5 高次脳機能障害4（遂行機能障害①）
- 6 高次脳機能障害5（遂行機能障害②）
- 7 高次脳機能障害6（認知症）
- 8 ポジショニング1（外部実習）
- 9 ポジショニング2（外部実習）
- 10 運動療法総論
- 11 関節可動域運動
- 12 運動療法におけるリスク管理
- 13 筋力増強運動
- 14 運動と呼吸・持久力増強運動
- 15 まとめ（高次脳機能障害・運動療法）

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
372	作業療法治療学演習Ⅲ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、定期試験70%		

【講義目的】

1. 高次脳機能障害について学びを深め、治療・応用できるよう身に付ける。
2. 義肢学・装具学全般について理解し、知識を深める。名称・目的を理解したうえで、機能及び適応について学ぶ。実物や写真の利用と実技を取り入れた学習で、理解を深める。

【講義計画】

- 1 高次脳機能障害各論1（脳の機能と役割）
- 2 高次脳機能障害各論2（脳画像について）
- 3 高次脳機能障害治療学1（注意障害・半側空間無視）
- 4 高次脳機能障害治療学2（失語症）
- 5 高次脳機能障害治療学3（失行症）
- 6 事例検討1
- 7 義肢装具学総論
- 8 義手
- 9 スプリント①
- 10 スプリント②
- 11 スプリント③
- 12 スプリント④
- 13 自助具①
- 14 自助具②
- 15 まとめ（高次脳機能障害、義肢装具学）

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
373	作業療法治療学演習Ⅳ	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題70%、実技試験20%		

【講義目的】

1. 作業療法における管理全般について理解を深め、説明できる
2. 模擬症例を通して一般的な治療方法について学ぶ
3. 生活行為向上マネジメント(MTDLP)について学ぶ

【講義計画】

- 1 オリエンテーション、症例提示・画像・予後予測
- 2 面接1
- 3 面接2
- 4 症例報告会（聴講）
- 5 評価計画
- 6 発表（評価計画）
- 7 評価実施1、生活行為アセスメント演習シート作成
- 8 評価実施2、生活行為アセスメント演習シート作成
- 9 評価実施3、生活行為アセスメント演習シート作成
- 10 評価実施4、生活行為アセスメント演習シート作成
- 11 実技テスト
- 12 生活行為課題分析シート作成
- 13 生活行為向上プラン演習シート作成
- 14 症例シート作成1
- 15 症例シート作成2

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
374	作業療法治療学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	情意領域20% 精神運動領域40% 認知領域40%（臨床実習評価表に準ずる）		

【講義目的】

模擬症例を通じて初期評価・治療を行い、作業療法実施の流れを理解する。また治療方法について検討し、理解を深める。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション・症例1提示、初回面接
- 2 評価計画の作成・実技練習
- 3 症例1初期評価①
- 4 症例1初期評価②
- 5 症例1治療実践③
- 6 症例1治療実践④、症例2提示
- 7 評価のまとめ（ICF・問題点・治療プログラム立案）
- 8 吸痰・吸引実技
- 9 症例2面接・初期評価①
- 10 症例2初期評価②
- 11 症例2初期評価③
- 12 症例2初期評価④・治療プログラム立案
- 13 症例2治療実施①
- 14 症例2治療実施②
- 15 まとめと発表

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
375	作業療法治療技術学Ⅰ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

解剖学・生理学・運動学を中心に基礎医学分野の知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義計画】

- 1 骨・関節のタイプ
- 2 筋の構造と機能
- 3 上肢の関節・筋 1（肩関節）
- 4 上肢の関節・筋 2（肘関節・手関節など）
- 5 下肢の関節・筋 1（股関節）
- 6 下肢の関節・筋 2（膝関節・足関節など）
- 7 頭頸部～体幹の関節・筋 1（脊柱・体幹）
- 8 頭頸部～体幹の関節・筋 2（頭部・顔面）
- 9 姿勢と歩行
- 10 神経の興奮伝達
- 11 中枢神経系
- 12 末梢神経系
- 13 反射と筋活動
- 14 感覚
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
376	作業療法治療技術学Ⅱ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

解剖学・生理学・病理学の専門基礎分野と内科学中心に知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義計画】

- 1 呼吸器系 1（解剖・呼吸運動）
- 2 呼吸器系 2（呼吸生理）
- 3 循環器系 1（心臓・心電図）
- 4 循環器系 2（脈管）
- 5 消化器系
- 6 排泄・代謝・ホルモン他
- 7 病理：組織の障害、循環障害、血栓・塞栓、炎症
- 8 病理：免疫機構、疾患と病因
- 9 リハビリテーション概論：薬理栄養
- 10 内科学：循環器疾患 1
- 11 内科学：循環器疾患 2
- 12 内科学：呼吸器疾患・消化器疾患
- 13 内科学：代謝性疾患、ホルモン異常、腎・泌尿器疾患など
- 14 内科学：免疫・アレルギー疾患、腫瘍・がん、薬物療法など
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
377	作業療法治療技術学Ⅲ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

臨床医学分野を中心に知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義計画】

- 1 神経内科学：神経症候学、運動麻痺、感覚障害
- 2 神経内科学：脳血管障害、頭部外傷
- 3 神経内科学：変性疾患、脱髄疾患、その他
- 4 整形外科学：骨折
- 5 整形外科学：関節リウマチ、変形性関節症、末梢神経損傷等
- 6 整形外科学：脊髄損傷
- 7 整形外科学：その他
- 8 臨床心理学1
- 9 臨床心理学2
- 10 精神医学：基本症状、統合失調症
- 11 精神医学：気分障害
- 12 精神医学：その他1（神経症性障害およびストレス関連障害）
- 13 精神医学：その他2（パーソナリティ障害と行動異常、てんかん等）
- 14 精神医学：その他3（依存症、薬物療法等）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
378	作業療法治療技術学Ⅳ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

評価学等の作業療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。また、対象者の自立生活を支援するために必要な問題解決能力を養う。

【講義計画】

- 1 ROM
- 2 MMT 1
- 3 MMT 2
- 4 感覚検査、Brunnstrom法
- 5 ADL、QOL等の評価法
- 6 精神疾患の評価法
- 7 その他の評価法
- 8 ADL 1
- 9 ADL 2
- 10 リハビリテーション概論
- 11 作業療法概論 1
- 12 作業療法概論 2
- 13 義肢装具 1
- 14 義肢装具 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
379	作業療法治療技術学V	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

各疾患における専門分野の知識を整理し、具体的な作業療法の治療について学び、知識を身につける。

【講義計画】

- 1 中枢疾患 1
- 2 中枢疾患 2
- 3 中枢疾患 3
- 4 中枢疾患 4
- 5 神経・筋疾患 1
- 6 神経・筋疾患 2
- 7 神経・筋疾患 3
- 8 内部障害：呼吸器疾患・糖尿病
- 9 内部障害：心疾患
- 10 内部障害：悪性腫瘍・緩和ケア他
- 11 脊髄損傷 1
- 12 脊髄損傷 2
- 13 整形外科疾患 1
- 14 整形外科疾患 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
380	作業療法治療技術学VI	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、中間テスト45%、定期試験50%		

【講義目的】

老年期・精神疾患・小児疾患の作業療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。

【講義計画】

- 1 認知症 1
- 2 認知症 2
- 3 統合失調症 1
- 4 統合失調症 2
- 5 気分障害
- 6 神経症状症および関連症群 1
- 7 神経症状症および関連症群 2
- 8 パーソナリティ障害
- 9 摂食障害
- 10 依存症
- 11 発達障害、注意欠如・多動性障害など
- 12 小児科学 1（正常発達と反射）
- 13 小児科学 2（脳性麻痺、筋ジストロフィー）
- 14 小児科学 3（発達検査、知的障害）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
381	地域作業療法学Ⅰ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度5%、定期試験95%		

【講義目的】

1. 地域生活を支援するにあたり活躍している作業療法士より講義頂き、地域支援の実情について学ぶ。
2. 回復期の作業療法や介護老人保健施設(入所・通所)の作業療法について学ぶ。
3. 地域包括ケアシステムについて理解する。また認知症の作業療法と介護保険制度について学ぶ。

【講義計画】

- 1 認知症を取り巻く社会情勢・介護保険制度について理解する
- 2 認知症についての基礎知識を理解する
- 3 認知症の症状と対応・リスクについて理解する
- 4 認知症患者の評価・アセスメントについて理解する
- 5 認知症のアプローチについて理解する
- 6 事例検討(認知症)
- 7 回復期の作業療法(地域包括ケアシステム)について1
- 8 回復期の作業療法(地域包括ケアシステム)について2
- 9 回復期の作業療法(地域包括ケアシステム)について3
- 10 介護老人保健施設の作業療法について1
- 11 介護老人保健施設の作業療法について2
- 12 介護老人保健施設の作業療法について3
- 13 通所リハビリテーションの作業療法について(事例検討・ICFまとめ)
- 14 通所リハビリテーションの作業療法について(事例検討・アプローチ)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
382	地域作業療法学Ⅱ	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度10%、レポート課題20%、定期試験70%		

【講義目的】

1. 国が推し進める在宅生活での地域包括ケアシステムの理解を深める。
2. 保険・医療・福祉を包括する地域システムの中で求められる理念および具体的な作業療法技術について学ぶ。
3. 就労支援の作業療法、地域包括支援、および事例検討を通して施設の役割や疾患について深める。

【講義計画】

- 1 通所リハビリテーションの作業療法について 応用1
- 2 通所リハビリテーションの作業療法について 応用2
- 3 地域リハビリテーション
- 4 地域で働く作業療法
- 5 多職種との連携の必要性
- 6 連携に必要なコミュニケーション
- 7 多職種連携の実践
- 8 介護保険法と介護保険サービス(地域包括ケアシステム)
- 9 グループワーク:地域作業療法の評価と治療
- 10 プレゼンテーション:地域作業療法の評価と治療
- 11 認知症の作業療法について(事例検討) 1
- 12 認知症の作業療法について(事例検討) 2
- 13 就労支援の作業療法について 1
- 14 就労支援の作業療法について 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
383	基礎作業療法学臨床実習Ⅰ	1年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：報告評価点、各レポート課題評価点		

【講義目的】

1. 実務家教員の説明を受けながら作業療法の役割を理解する。
2. 基本的態度である挨拶の実施、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行等の実施および必要性を理解する。
3. 実務家教員の説明を受けながら、専門知識や技術を理解する。

【実施内容】

- 1 施設における作業療法部門の役割を知り、作業療法士の日々の業務を学ぶ。
- 2 作業療法部門における対象者の作業療法の処方から治療実施までの流れを学ぶ。
- 3 見学を通し専門知識や技術の必要性を理解し、以後の学習目標を明確にする。
- 4 規則を守り責任を持った行動をとることや、対象者や職員に対し節度ある態度で接するなどの基本的態度を身につける。
(挨拶、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行、自己管理等の習得にあたる)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
384	基礎作業療法学臨床実習Ⅱ	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：報告評価点、各レポート課題評価点		

【講義目的】

1. 実務家教員の見学や説明を受けながら、通所リハビリテーションの作業療法の役割等を理解する。
2. 基本的態度である挨拶の実施、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行等を実施する。
3. 実務家教員の見学や説明を受けながら、専門知識や技術を理解する。

【実施内容】

- 1 通所リハビリテーションにおける作業療法部門の役割を知り、作業療法士の日々の業務を学ぶ。
- 2 作業療法部門における対象者の作業療法の支援や地域での生活支援について学ぶ。
- 3 介護保険制度や介護保険サービス、地域包括ケアシステム等について理解を深める。
- 4 規則を守り責任を持った行動をとることや、対象者や職員に対し節度ある態度で接するなどの基本的態度を身につける。
(挨拶、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行、自己管理等の習得にあたる)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
385	作業療法評価学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点、臨床能力試験		

【講義目的】

1. 実務家教員の説明・指導を受けながら、学内で修得した基本的技能（対象者の理解・評価技術等）を実施する。
2. 実務家教員の説明を受けながら、評価から治療計画立案までの作業療法の思考過程を理解し、習得する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。

【基本的態度を学ぶ】

- 1 職員・対象者との適切なコミュニケーション能力を養う。
- 2 スケジュール、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談をする能力を養う。

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
386	作業療法総合臨床実習 I	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点、臨床能力試験		

【講義目的】

1. 実務家教員の指導のもと、作業療法を実施するための技能や態度を総合的に学ぶ。
2. 実務家教員の指導のもと、対象者の把握から治療経過までも総合的な作業療法の思考過程を学ぶ。
3. 総合的知識および基本的技能・態度について、実習前にて備えていることを確認し、実習後に評価し判定する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。
- 4 治療プログラムの実施し、経過を記録する。また変化に応じた治療プログラム変更について学ぶ。

【基本的臨床技能【治療】を学ぶ】

- 1 治療を行う場所・必要な器具の準備、対象者に即した治療時間等の治療環境を設定する。
- 2 対象者・家族に治療計画・治療手段の説明を行い、治療における安全性を認識し対処する。
- 3 対象者の変化に応じて適切な治療計画を立て、治療手段を対象者に実施する。

【基本的態度の実施】

職員・対象者との適切なコミュニケーションを図り、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談を実施する。

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
387	作業療法総合臨床実習Ⅱ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点、臨床能力試験		

【講義目的】

1. 実務家教員の指導のもと、作業療法を実施するための技能や態度を総合的に学ぶ。
2. 実務家教員の指導のもと、対象者の把握から治療経過までも総合的な作業療法の思考過程を学ぶ。
3. 総合的知識および基本的技能・態度について、実習前にて備えていることを確認し、実習後に評価し判定する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。
- 4 治療プログラムの実施し、経過を記録する。また変化に応じた治療プログラム変更について学ぶ。

【基本的臨床技能【治療】を学ぶ】

- 1 治療を行う場所・必要な器具の準備、対象者に即した治療時間等の治療環境を設定する。
- 2 対象者・家族に治療計画・治療手段の説明を行い、治療における安全性を認識し対処する。
- 3 対象者の変化に応じて適切な治療計画を立て、治療手段を対象者に実施する。

【基本的態度の実施】

職員・対象者との適切なコミュニケーションを図り、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談を実施する。

